【ＷＥＢ事務次官 With FileMaker 操作マニュアル】

Ver 1.00

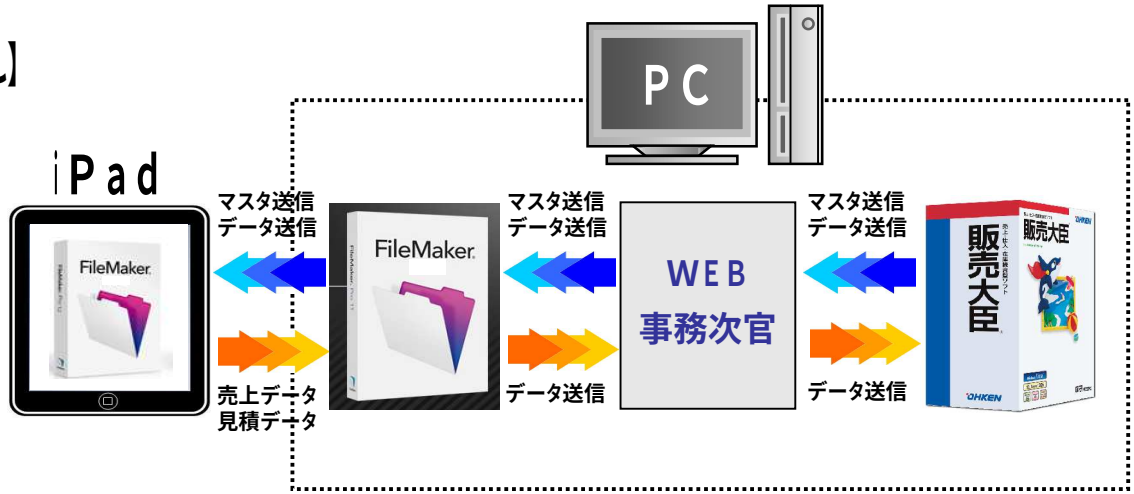
株式会社インターメディア・プランニング

2012年4月作成

目次

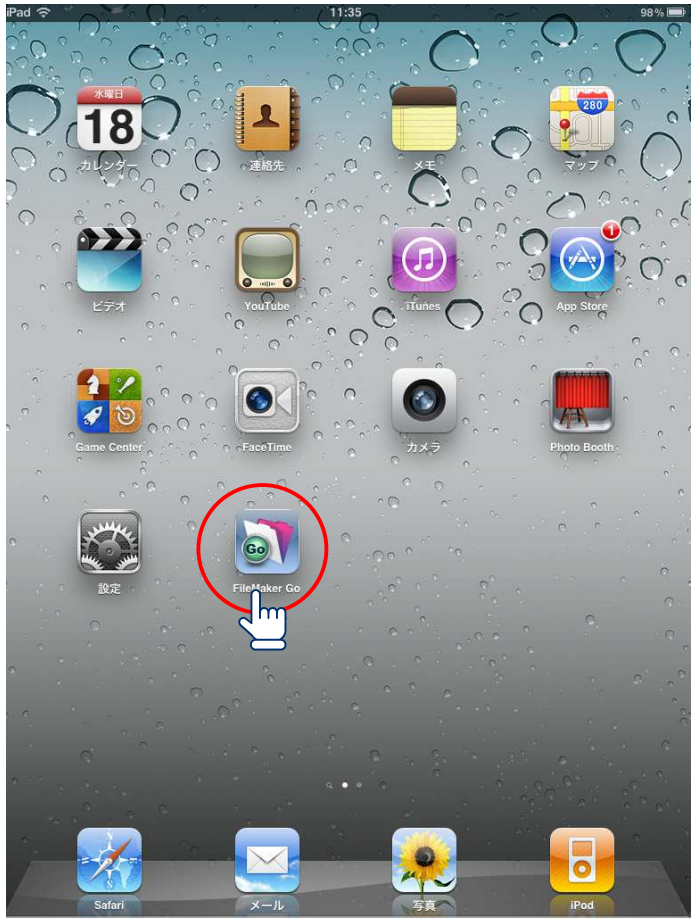
- iPad（ファイルメーカー）の起動 ･･･2
- iPad発注－基本の流れ－ ･･･3
- iPad見積履歴を見る ･･･4
- iPad見積の入力 ･･･5
- iPad注文履歴を見る ･･･6
- iPad商品検索－商品グループ検索／文字列検索 ･･･7
- iPad商品検索－絞込み検索／新規検索 ･･･8
- iPad修正･削除 ･･･9
- iPadマスタ取り込み ･･･10
- iPadデータ操作 ･･･11
- iPad　接続に関して ･･･12
- PCマスタ取り込み ･･･13
- PCデータ受信 ･･･15
- PCデータ出力 ･･･16
- ･･･17
- Web事務次官起動 ･･･19
- メンテナンス処理 ･･･27
- サーバー処理 ･･･29
- データの受信 ･･･30
- データ詳細 ･･･33
- データ削除 ･･･34
- 売上伝票登録 ･･･36
- 見積伝票変換 ･･･37
- 販売大臣 ･･･38
- 販売大臣―売上伝票― ･･･40
- 見積伝票出力 ･･･41
- 見積伝票受入 ･･･43
- 販売大臣―見積伝票― ･･･43

【データの流れ】

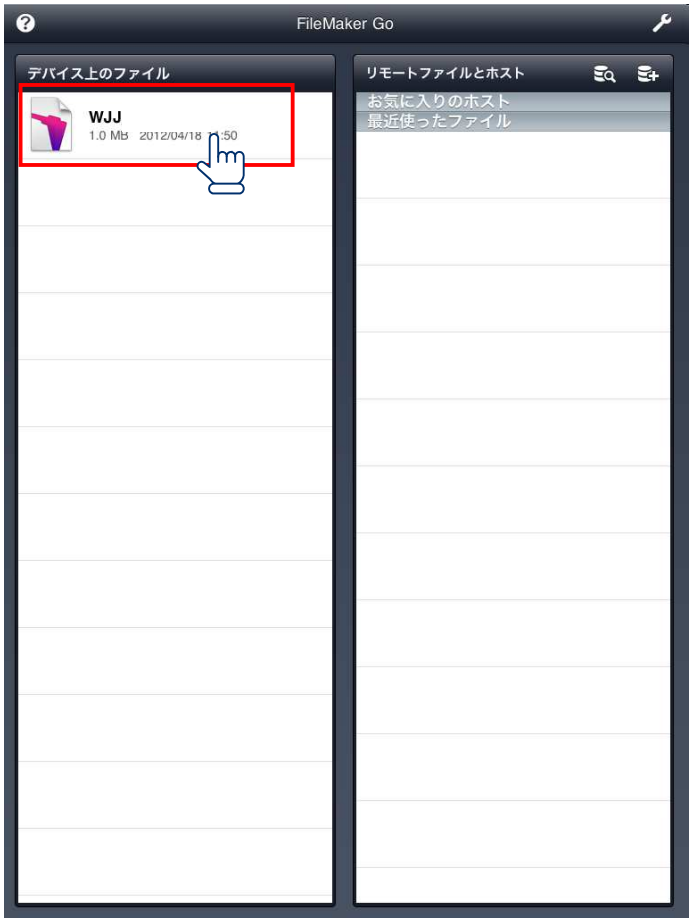


iPad（ファイルメーカー）の起動

①アイコンをタップして「ファイルメーカー」を起動します



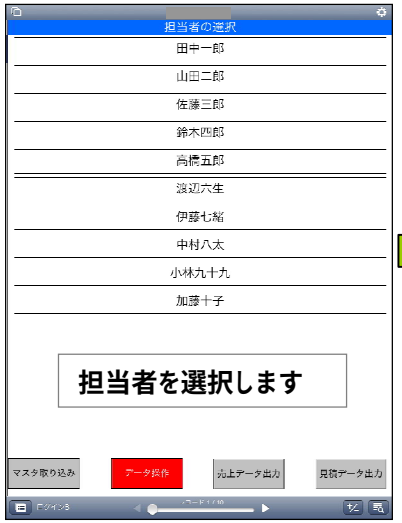
②「WJJ」をタップします

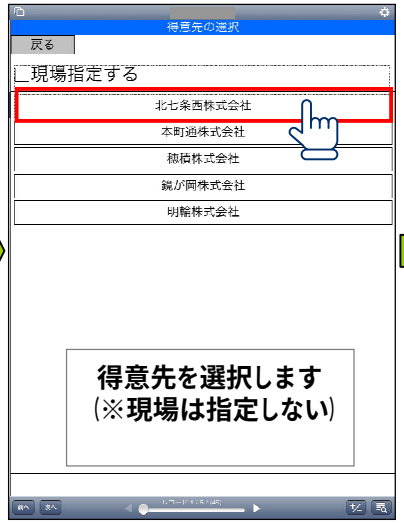


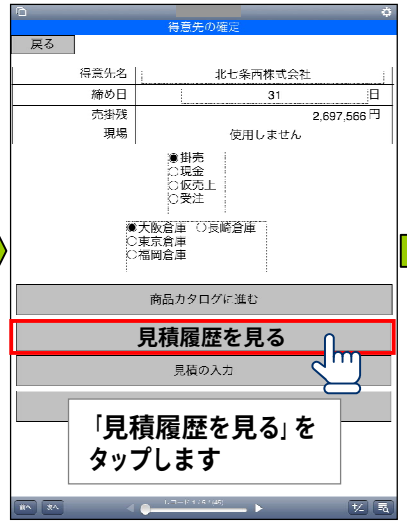
iPad発注ー基本の流れー

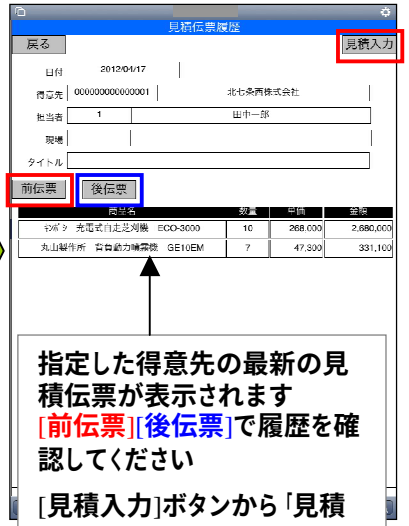
iPad見積履歴を見る

iPadで入力した見積を確認することができます
ここでは「指定した得意先」の見積履歴すべてを表示します
※但し、パソコンへ「見積データ送信」後はiPadで確認することはできません









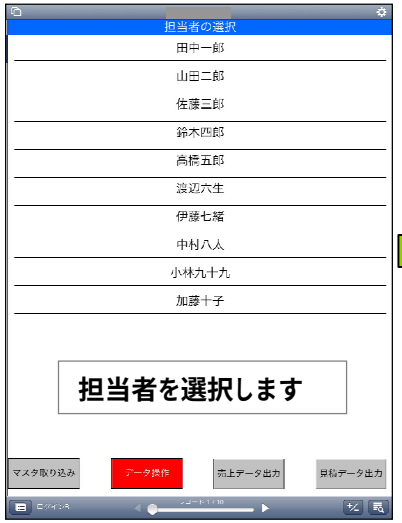
iPad見積の入力

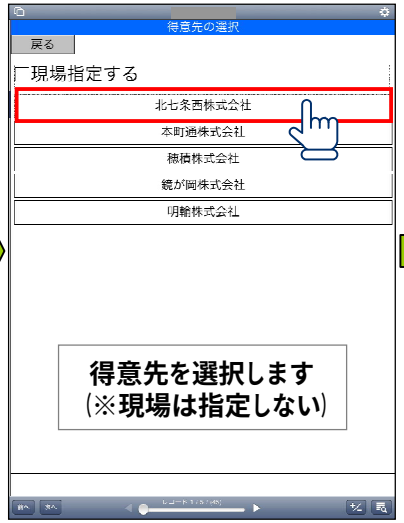
【担当者：田中一郎】【得意先：北七条西株式会社】選択後の画面からご説明いたします

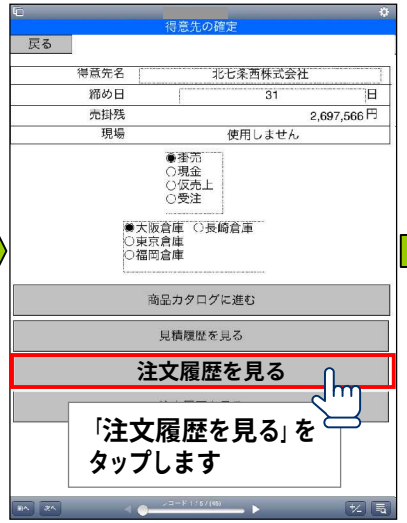
iPad注文履歴を見る

iPadで入力した注文を確認することができます。ここでは「指定した得意先」の注文履歴すべてを表示します

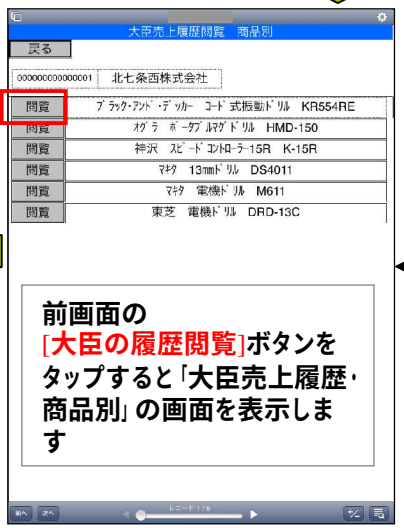
※但し、パソコンへ「売上データ送信」後はiPadで確認することはできません







[カタログへ進む]ボタンをタップすると「注文」に進みます



[大臣の履歴閲覧は]注文履歴の有無に関係なく見ることができます

最新の情報を閲覧する場合、TOP画面よりデータを取り込んでください

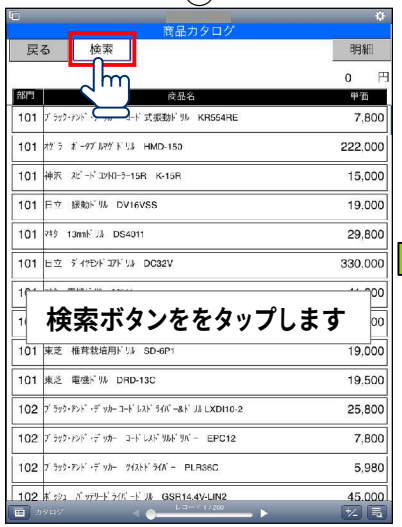
[マスタ取り込み]→[伝票データ取得]→[売上データ取得]

iPad商品検索－商品グループ検索／文字列検索

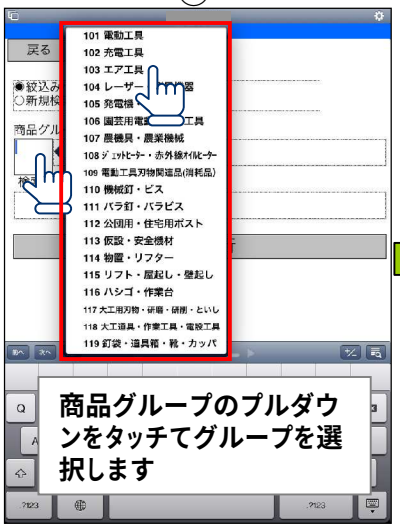
※両方同時に検索することもできます

【商品グループ検索】　商品グループ「エア工具」を検索します

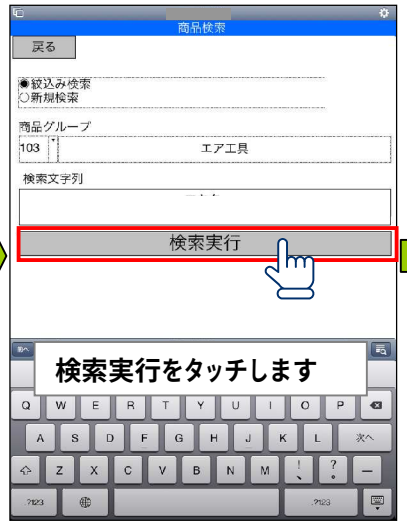
①



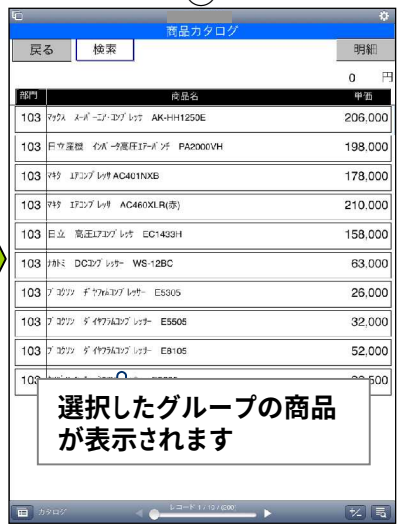
②



③

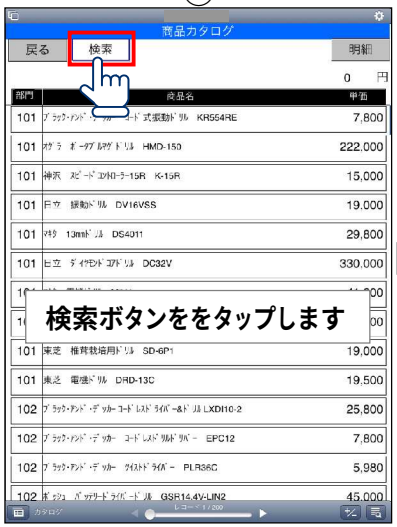


④

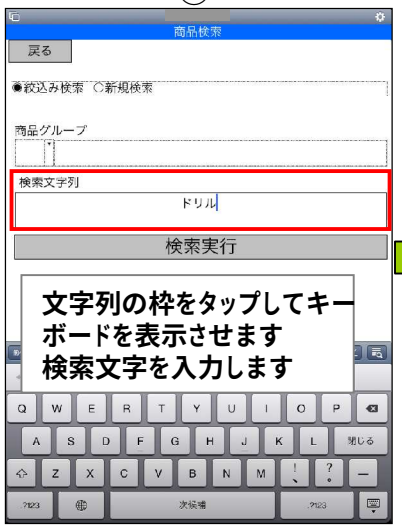


【文字列検索】　文字列「ドリル」を検索します

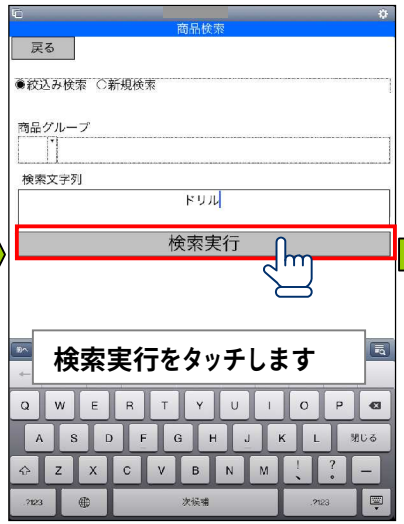
①



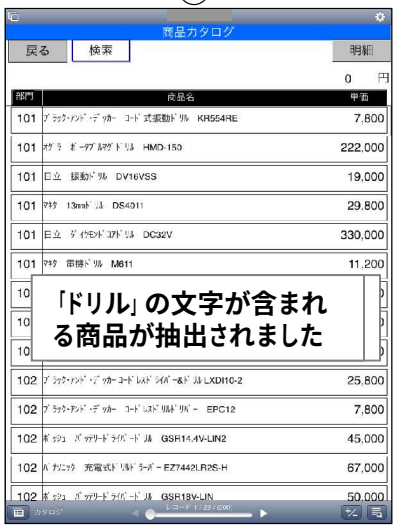
②



③



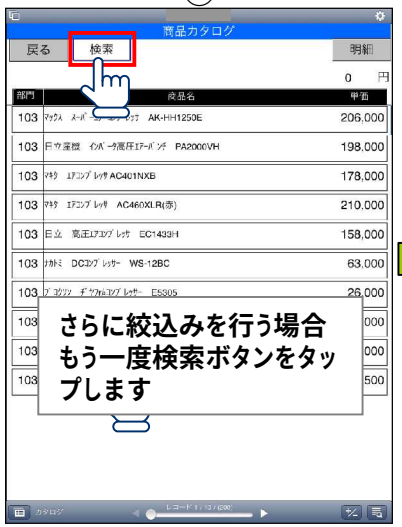
④



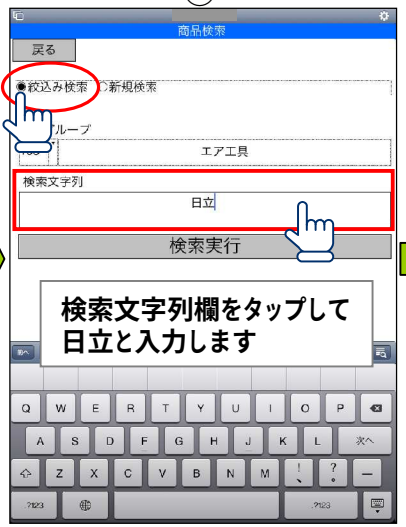
iPad商品検索－絞込み検索／新規検索

【絞込み検索】　商品グループ「エア工具」で抽出した商品を更に文字列「日立」で絞込みます

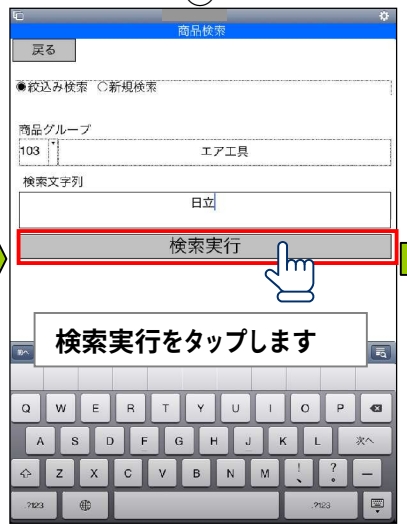
①



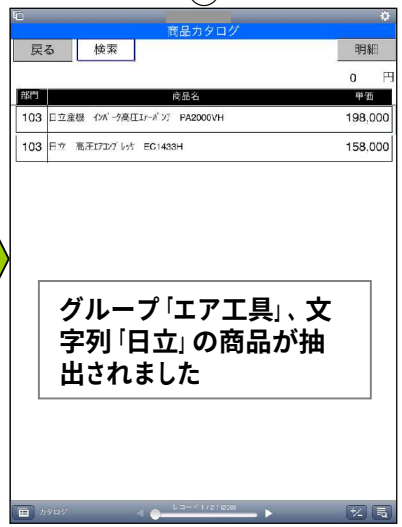
②



③

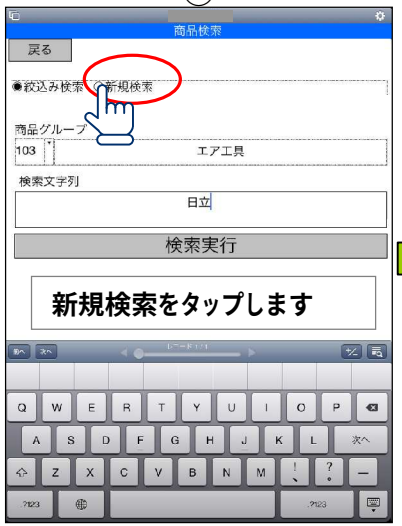


④

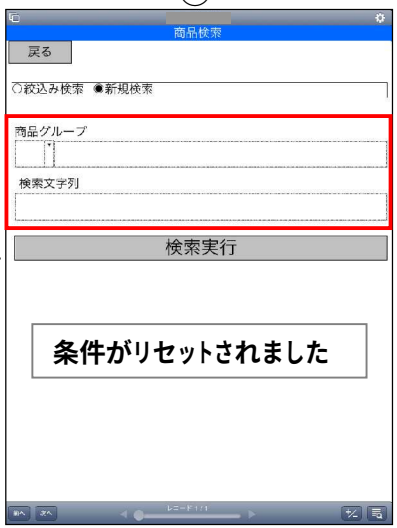


【新規検索】　検索条件をリセットする場合「新規検索」ボタンをタップしてください

①

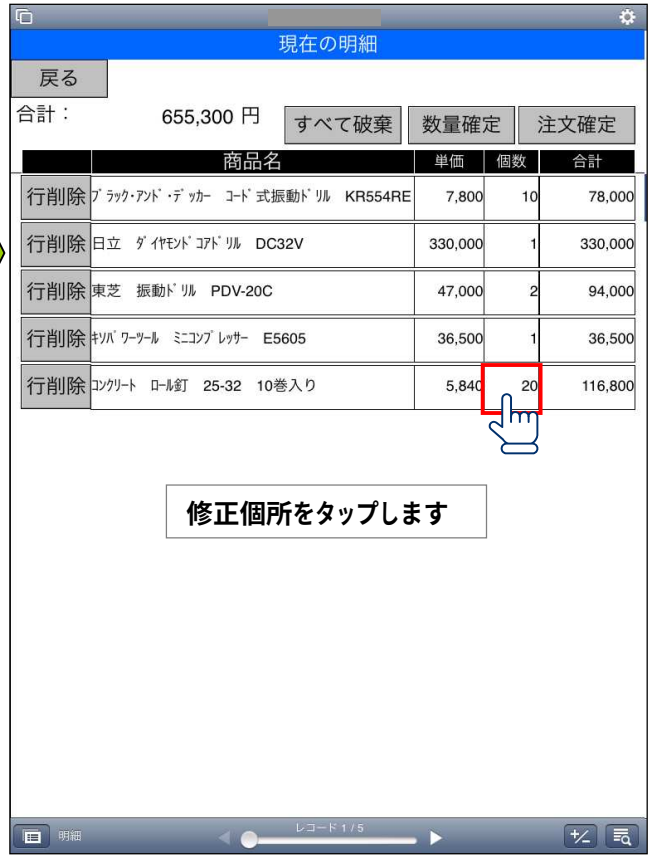


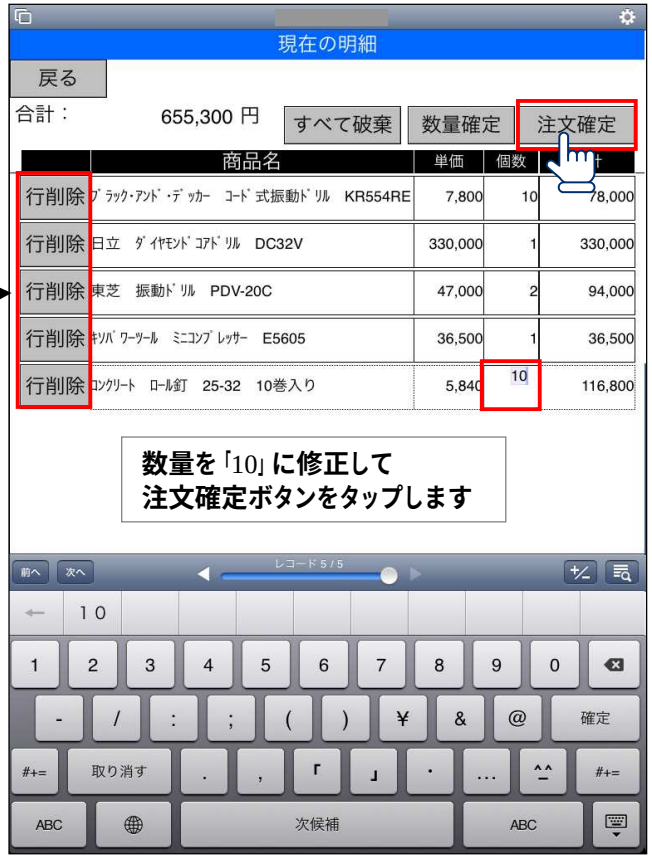
②



iPad修正・削除

注文確定前の商品に限り、明細画面にて「修正」及び「削除」ができます
例：「コンクリート　ロール釘　25*32　10巻入り」数量「20」→「10」に修正いたします



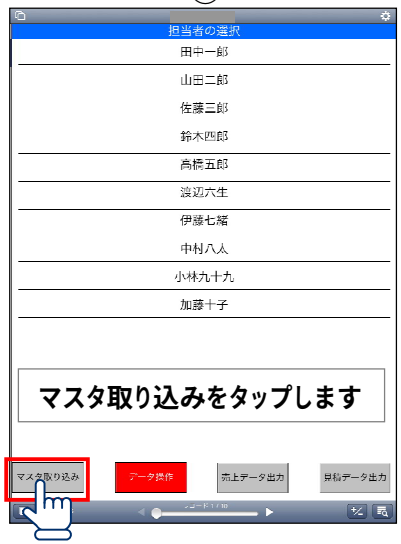


明細毎の削除は「行削除」ボタンをタップしてください

iPadマスタ取り込み　大臣で登録した各種データの受信を行います

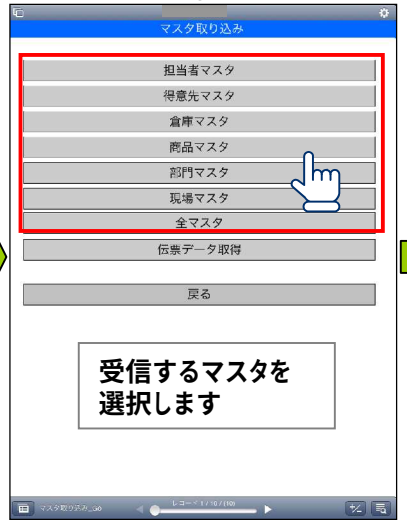
【各種マスタ取り込み】 担当者マスタ/得意先マスタ/倉庫マスタ/商品マスタ/部門マスタ/現場マスタ/全マスタ

①



②

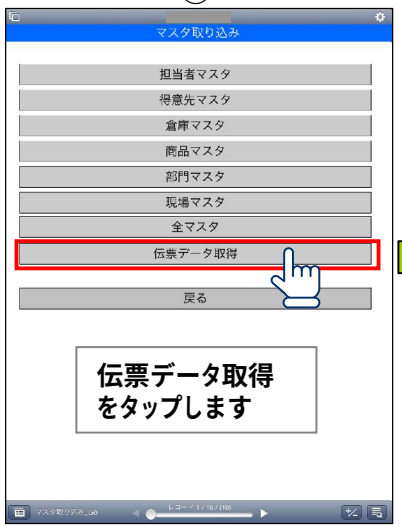
③



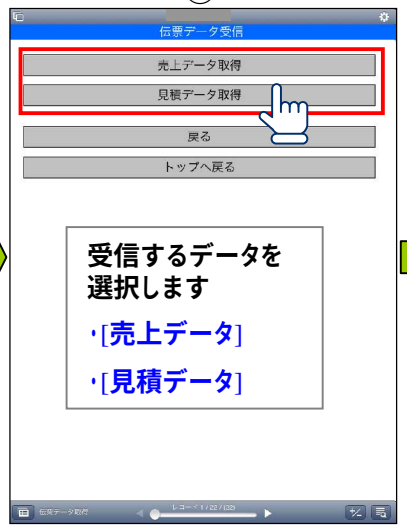
④

【伝票データ取り込み】売上データ/見積データ

③



④



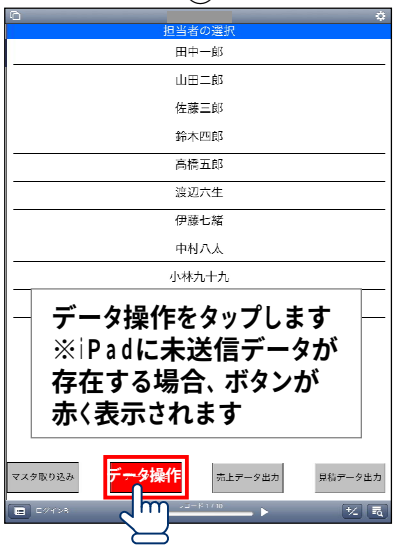
⑤

iPadデータ操作

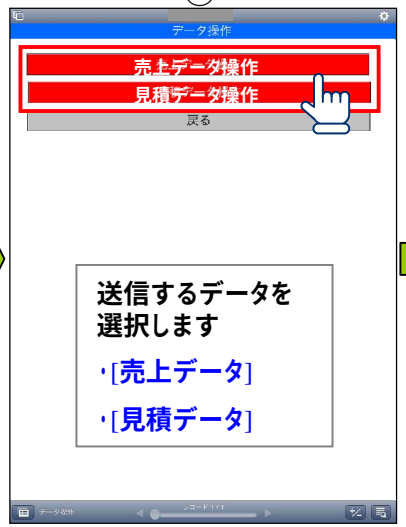
iPadで登録した売上データ、見積データの送信を行います

[売上データ操作/見積データ操作]

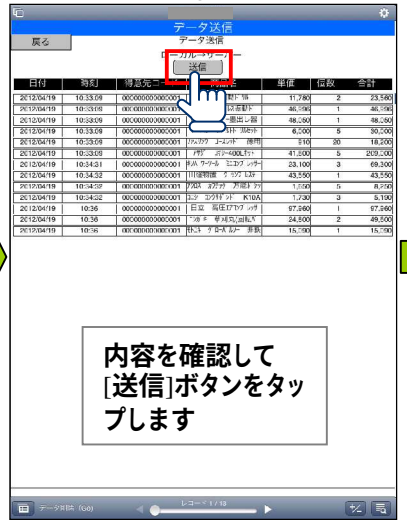
①



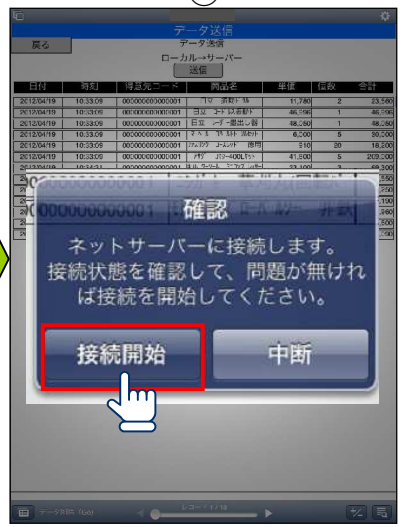
②



③



④

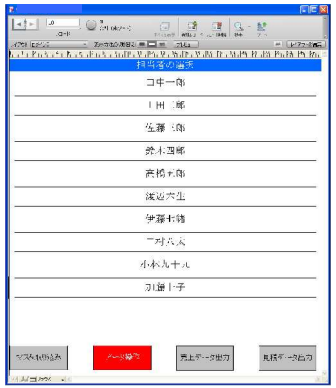


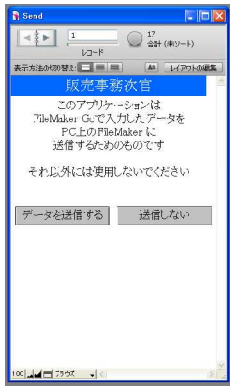
【データ送信する前に行ってください！】

iPadのデータを送信する前に
PCデスクトップのアイコン2個をクリックし、下記2画面を開いた状態にしてください

ファイルメーカ

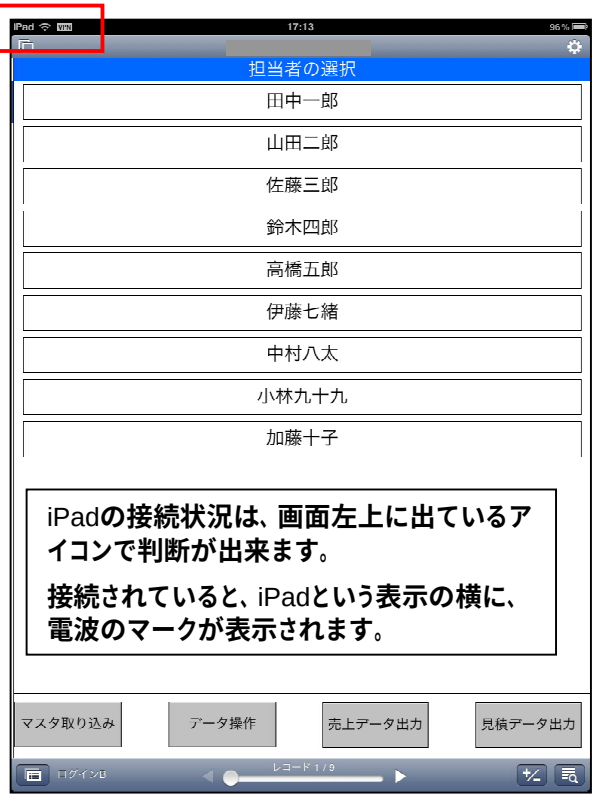
データ送受信





④

iPad　接続に関して



iPadの接続状況は、画面左上に出ているアイコンで判断が出来ます。

接続されていると、iPadという表示の横に、電波のマークが表示されます。

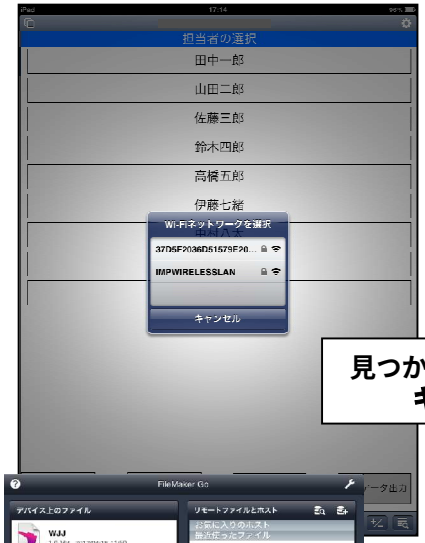
【接続状況の確認方法】

この二つのアイコンが表示されていれば、接続されています。

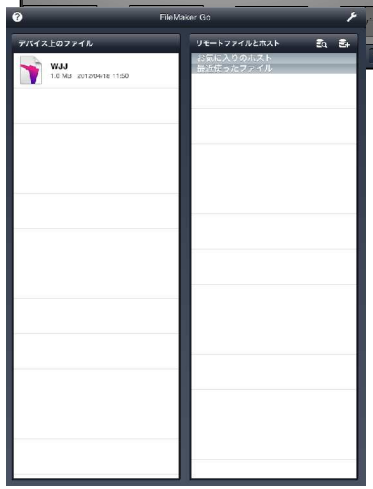
二つのアイコンが無いため、接続されていません。

サーバーデータを見ていて、途中で接続が切れてしまったら

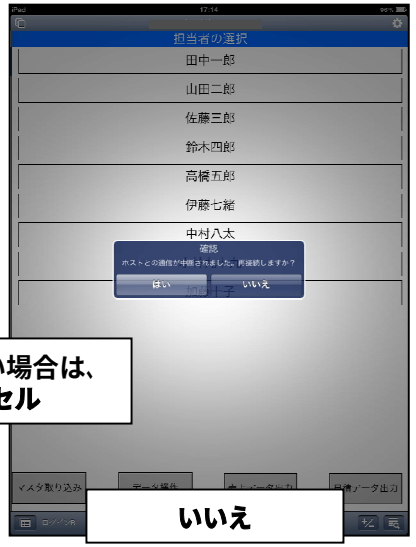
まず、接続先選択の画面が表示されます。表示された接続先で、接続可能なものがある場合は、それを選択してください。



見つからない場合は、キャンセル



今まで接続していた接続先に再接続できる場合は、はいを選択。



いいえ

はいを選んで接続しようとしたが、失敗した場合

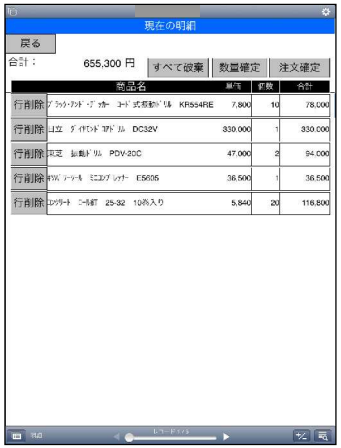
OK

FileMaker Goアプリを開いてすぐの画面に戻ります。

iPad 途中で接続が切れたら

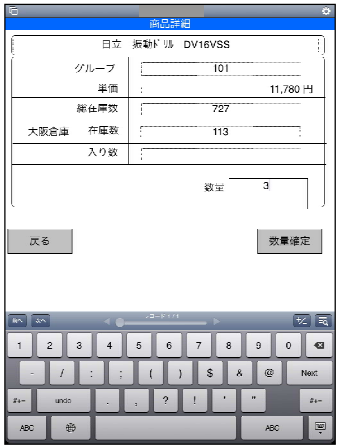
商品カタログ画面

明細画面



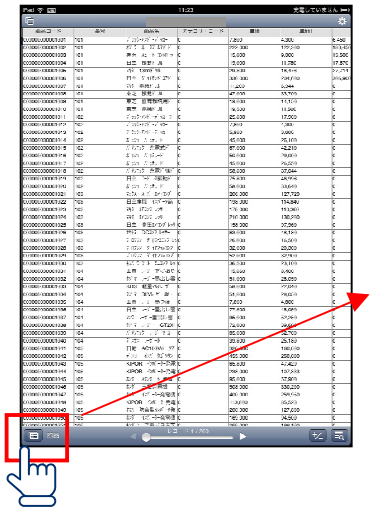
見積入力画面

商品詳細画面



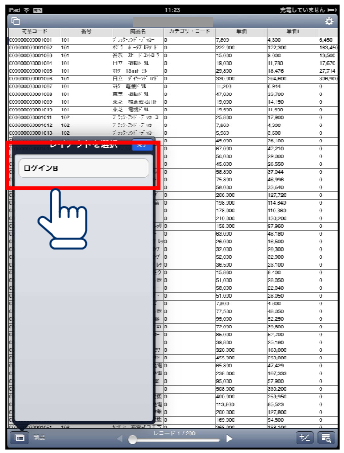
入力したデータは破棄されます。

マスタの取得途中に接続が切れたらこのような画面でとまることがあります。

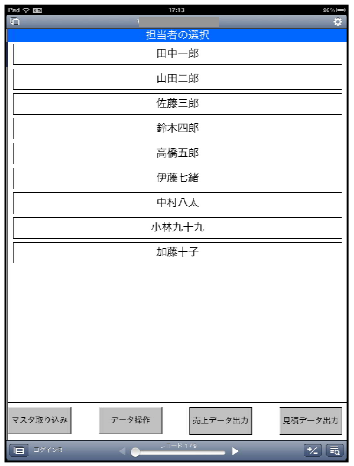


その際は、画面左下の、下画像のマークをタップして、右画像の画面にしてください。

ログインBを選び、タップします

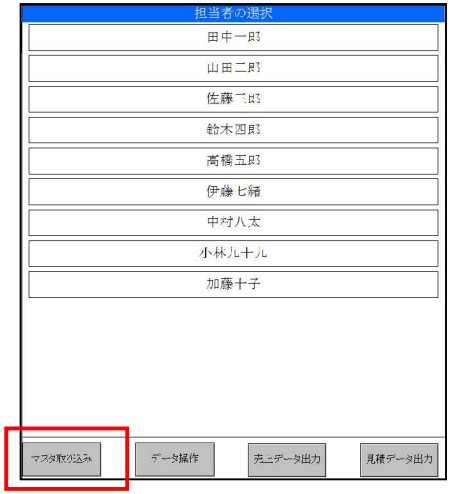


最初の画面に戻ります

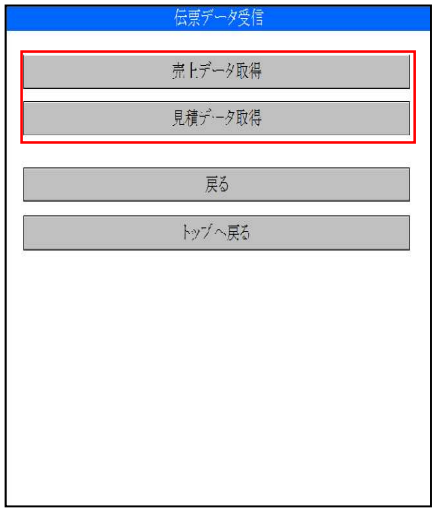


その後、接続を確認して、再度受信を行ってください。

PCマスタ取り込み　Web事務次官で更新されたデータを取り込みます

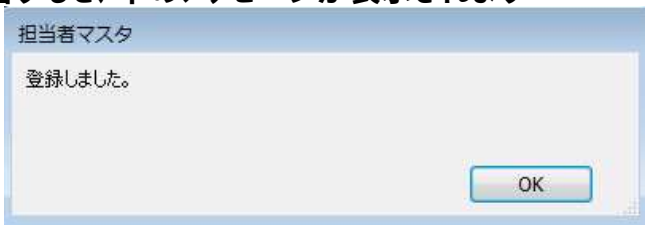


マスタ取り込みボタン押下

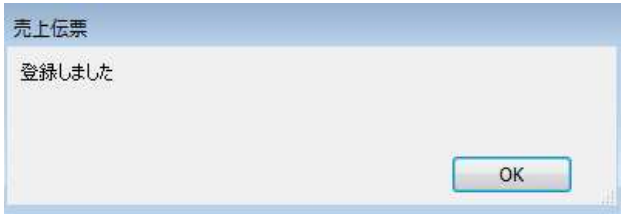


更新したいマスタを選択して、ボタンを押してください。

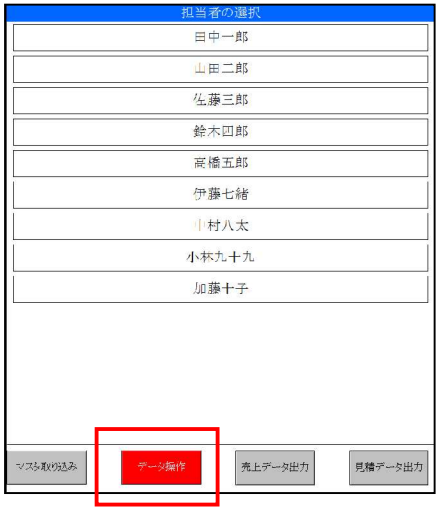
受信すると、下のメッセージが表示されます



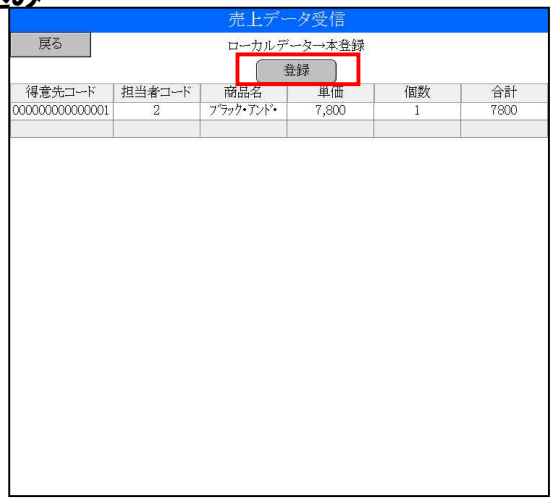
更新したい伝票データを選択して、ボタンを押してください。



データ受信　iPadで入力したデータを取り込みます



売上データ取り込み

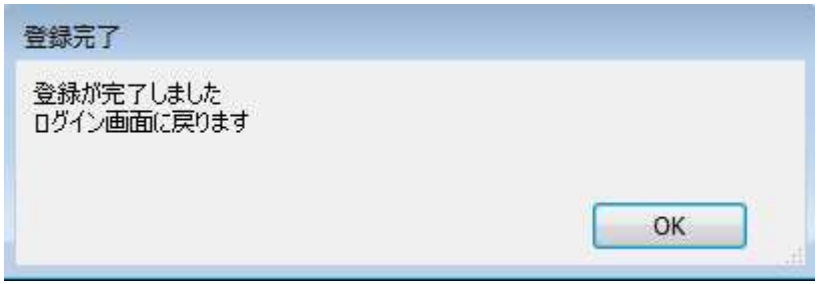


見積データ取り込み

データ操作ボタン押下

iPadで入力したデータが取り込まれていない場合、ボタンの色が赤になりますので、取り込みを行ってください

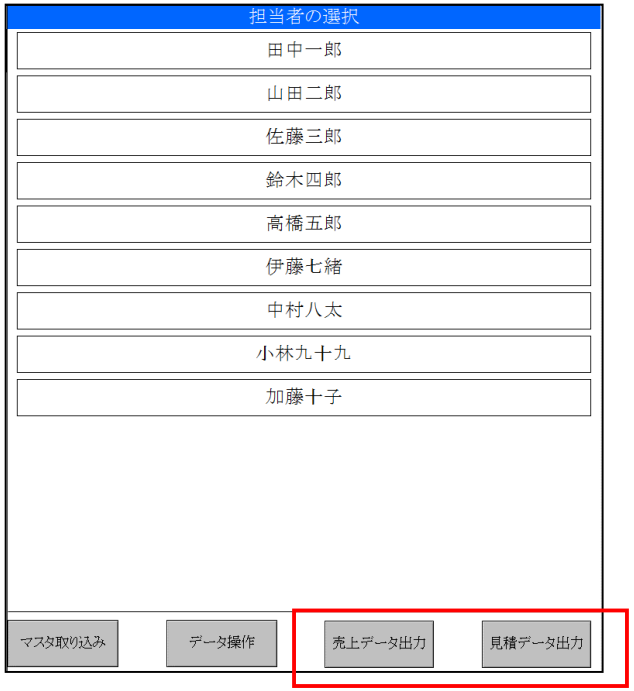
登録、はいを押すと、iPadのデータがPCに登録されます。



メッセージが出ると、登録は完了です。

伝票No	日付	得意先	担当者	現場	伝票タイトル	商品名		単価	個数	金額
1	2012/04/09	0000000000000001	1			0000000000001002	ｵｸﾗ ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾏｸﾄﾞﾘﾙ HMD-150	222,000	5	1,110,000
2	2012/04/09	0000000000000001	1			0000000000001006	日立 ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｺｱﾄﾞﾘﾙ DC32V	330,000	1	330,000
3	2012/04/09	0000000000000011	1			0000000000001001	ﾌﾞﾗｯｸ･ｱﾝﾄﾞ･ﾃﾞｯｶｰ ｺｰﾄﾞ式振動ﾄﾞﾘﾙ	7,800	1	7,800
4	2012/04/09	0000000000000001	1			0000000000001001	ﾌﾞﾗｯｸ･ｱﾝﾄﾞ･ﾃﾞｯｶｰ ｺｰﾄﾞ式振動ﾄﾞﾘﾙ	7,800	2	15,600
1	2012/03/28	0000000000000001	1	3		0000000000001002	ｵｸﾗ ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾏｸﾄﾞﾘﾙ HMD-150	222,000	5	1,110,000
1	2012/03/28	0000000000000001	1	3		0000000000001002	ｵｸﾗ ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾏｸﾄﾞﾘﾙ HMD-150	222,000	5	1,110,000

データ出力　FileMakerに登録されたデータを出力します



売上データ出力画面

日付	時刻	担当者		得意先		現場	商品		単価	個数	合計
		2	山田二郎	000000000000001	北七条西株式会社			ﾌﾞﾗｯｸ･ｱﾝﾄﾞ･ﾃｯｶｰ ｺｰﾄ式振動	7,800	1	7800

見積データ出力画面

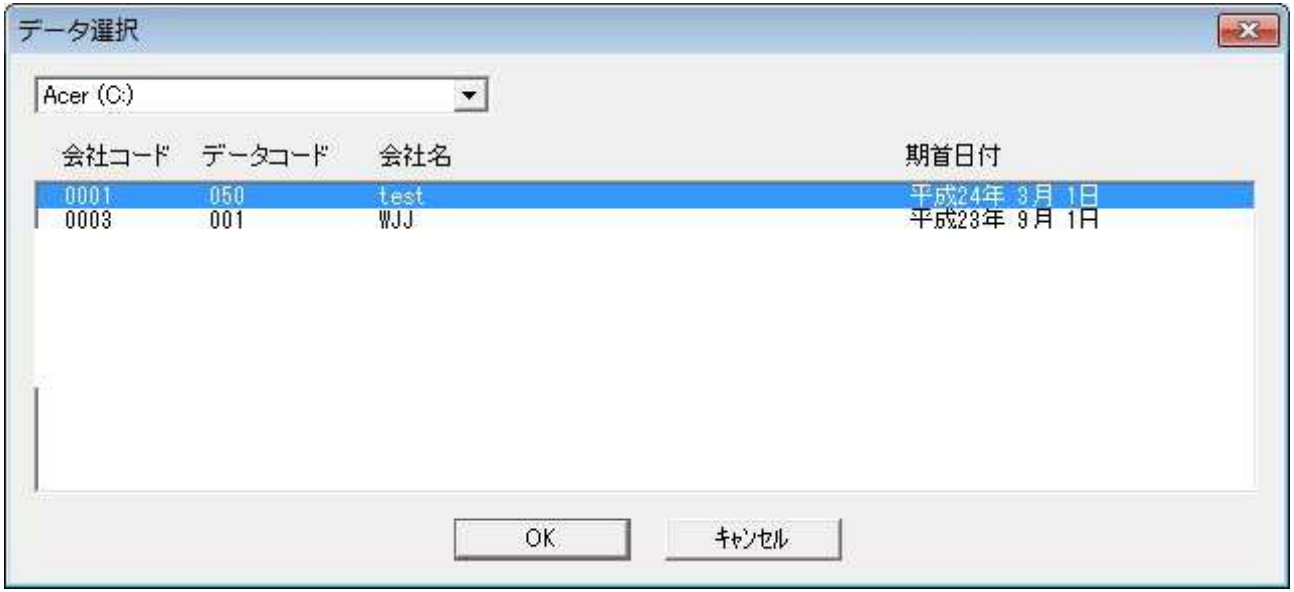
伝票No	日付	得意先	担当者	現場	伝票タイトル	商品名		数量	単価	金額
1	2012/04/20	000000000000001	1			000000000001006	日立 ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｺｱﾄﾞﾘﾙ	1	330,000	330,000

データ出力のボタンを押すと、FileMakerに登録されている売上、見積の一覧が表示され、はいのボタンを押すと、出力します。

このデータは、Web事務次官から大臣へ登録します。

データ選択

← このアイコンをダブルクリックすると、プログラムが起動します。

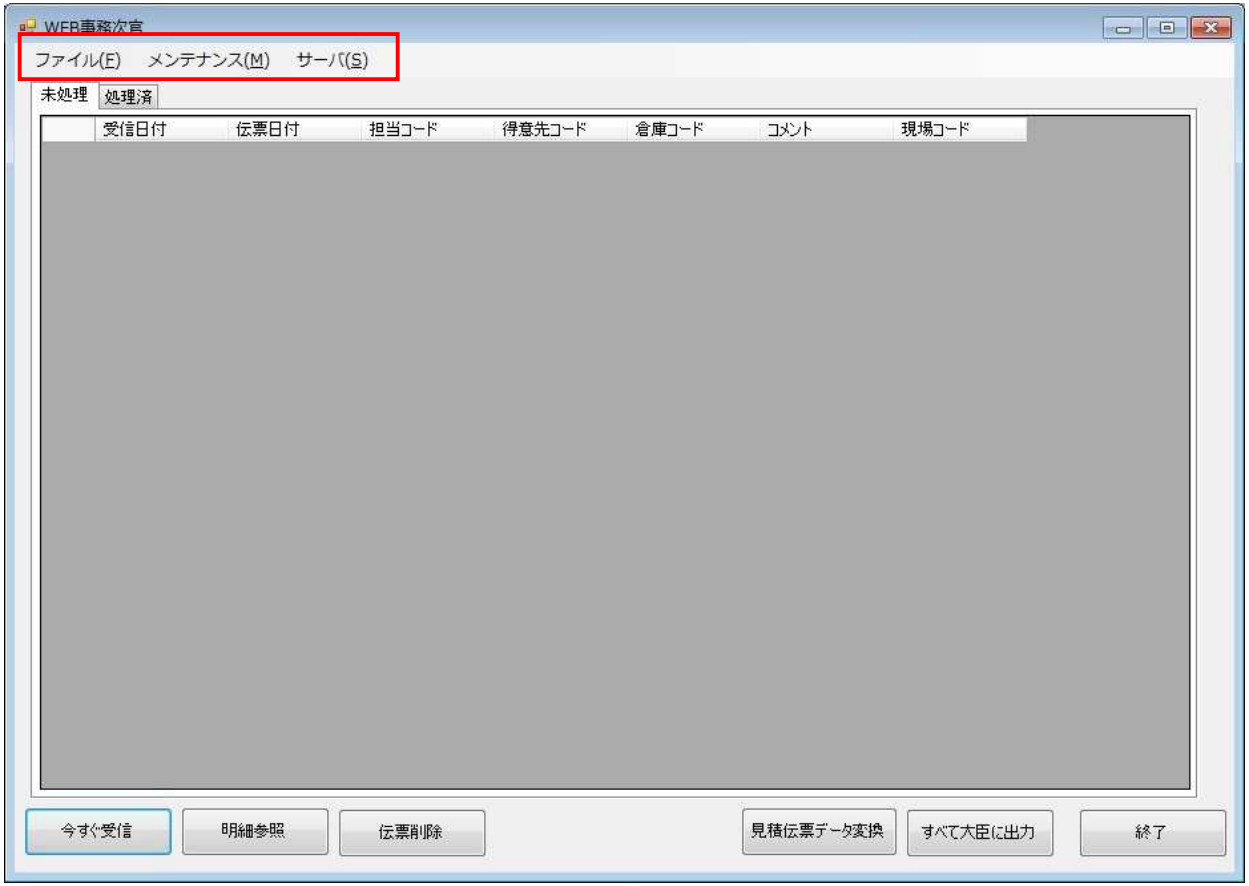


起動すると、販売大臣のデータの選択画面が出ますので、

データが複数ある場合は、使用するデータを選択してOKボタンを押してください。

キャンセルボタンを押すと、プログラムが終了します。

事務次官―トップ画面―



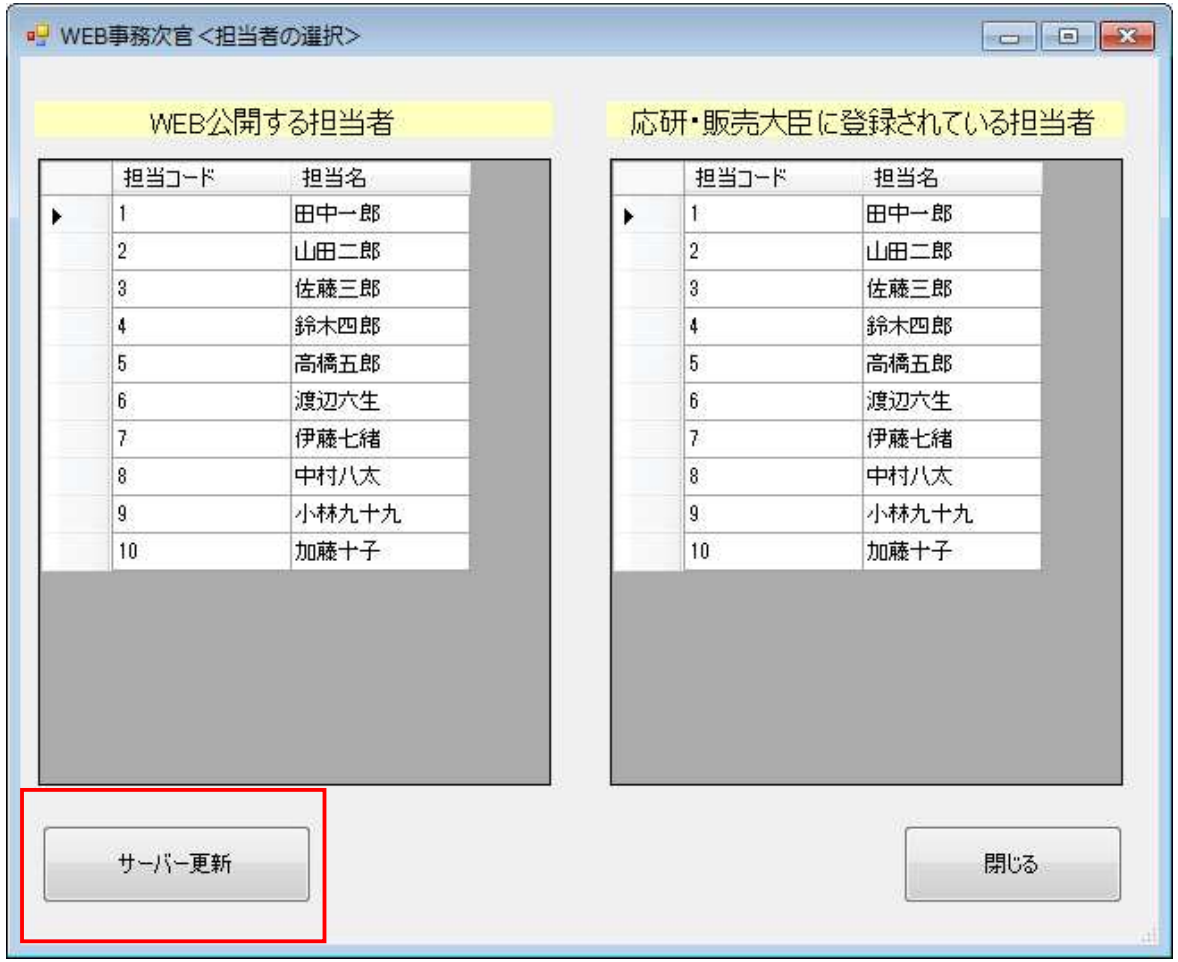
ファイル
終了･･･プログラムを終了します
メンテナンス
担当者･･･FileMakerに送る担当者を選択します。
得意先･･･FileMakerに送る得意先を選択します。
倉庫･･･FileMakerに送る倉庫を選択します。
現場･･･FileMakerに送る現場を選択します。
商品部門･･･FileMakerに送る商品分類を選択します。
商品カタログ･･･FileMakerに送る商品を選択します。
規定値･･･設定を行います
大臣設定･･･設定を行います。
サーバ
得意先残更新･･･大臣から売掛残を取得します。
商品在庫更新･･･大臣から商品在庫を取得します。
見積伝票更新･･･大臣から見積伝票データを取得します。
売上伝票更新･･･大臣から売上伝票データを取得します。

起動してすぐに表示される画面です。

終了ボタンを押すと、プログラムが終了します。

メンテナンス―担当者･現場･倉庫･商品部門―

担当者･現場･倉庫･商品部門のメンテナンス処理は同じですので、担当者で説明をします。



応研･販売大臣に登録されている担当者一覧から、FileMakerで使用したい担当者を選択し、ダブルクリックすると、FileMakerで使用する担当者一覧に追加されます。

FileMakerから担当者を減らしたい場合は、Web公開する担当者一覧から、減らしたい担当者を選択し、ダブルクリックしてください。Web公開する担当者一覧から、選択した担当者がなくなります。

変更を行った場合は、サーバーを更新してください。しない場合は、マスタは変更されません。

メンテナンス―得意先―

登録された得意先の検索をします。

販売大臣に登録されたデータを取得します。

変更を行った場合は、サーバーを更新してください

メンテナンス―得意先の選択、選択解除―

FileMakerに送りたい得意先をダブルクリックすると、左画像のような画面が開きます。

閉じるを押すと、得意先は登録されません。

確定を押すと、この得意先はFileMakerに送られます。

FileMakerから消したい得意先をダブルクリックすると、右画像のような画面が開きます。

確定、閉じるを押すと、このデータはFileMakerに残り、Web公開しないボタンを押すと、このデータはFileMakerからなくなります。

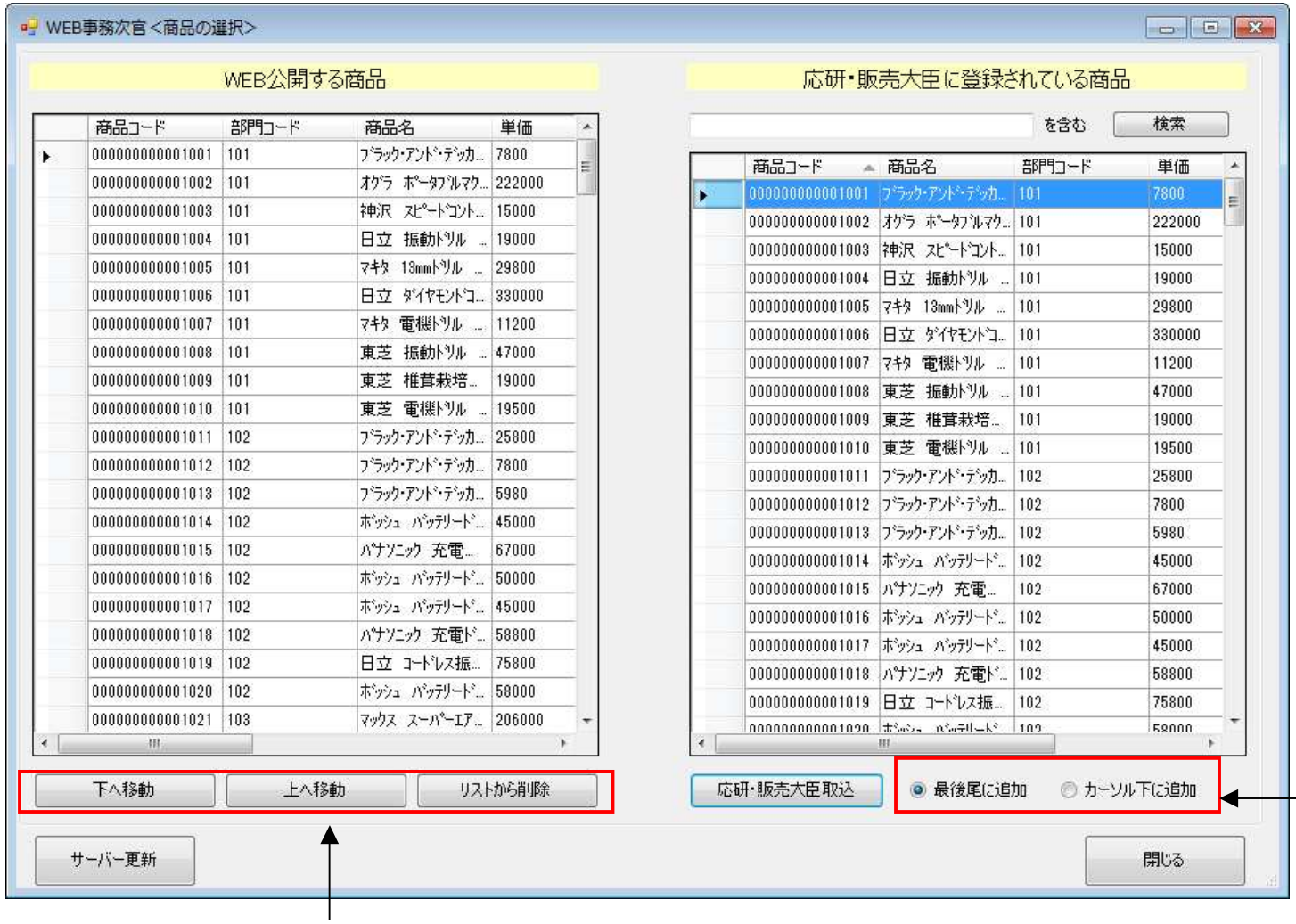
メンテナンス―商品カタログ―

登録された商品の検索をします。

販売大臣に登録されたデータを取得します。

変更を行った場合は、サーバーを更新してください

メンテナンス―商品カタログ（商品登録）―



ダブルクリックして商品を登録する際、最後尾に追加するか、今選んでいる商品の下に登録するか選択します。

登録した順番で、FileMakerで表示されます。

商品を登録した後に順番を変える場合は、このボタンを使用します。

リストから削除を選ぶと、FileMakerからその商品が削除されます。

メンテナンス―商品カタログ（商品詳細）―

FileMakerに商品を送るようにし、リストから商品を選んでダブルクリックすると、上の画面が開き、ここで商品名、部門、単価等の確認が出来ます。

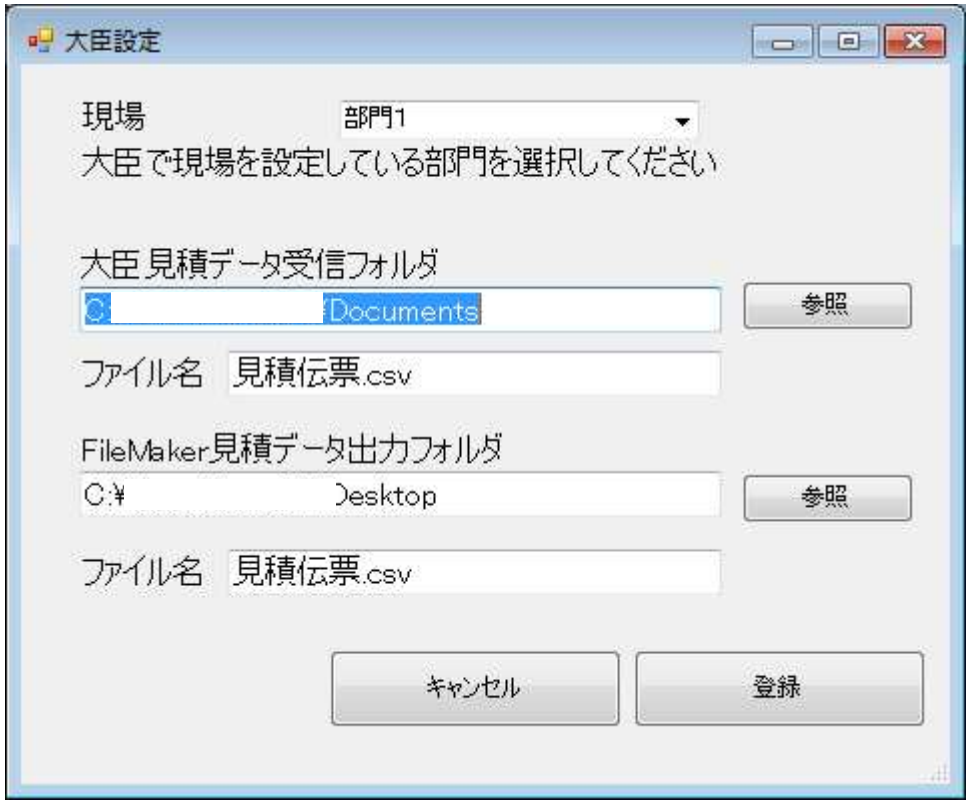
メンテナンス―規定値―

データ監視間隔：FileMakerから出力されたデータを取り込む際に、何分間隔でデータを確認し、取り込むか指定します。

FileMakerパス：FileMakerプログラムの置かれたフォルダを指定します。ここが正確に指定されていない場合、マスタファイルの更新、売上データの受信が正確に行われません。

登録ボタンを押すと、変更を反映します。閉じるを押すと、反映せずに設定を終了します。

メンテナンス―大臣設定―



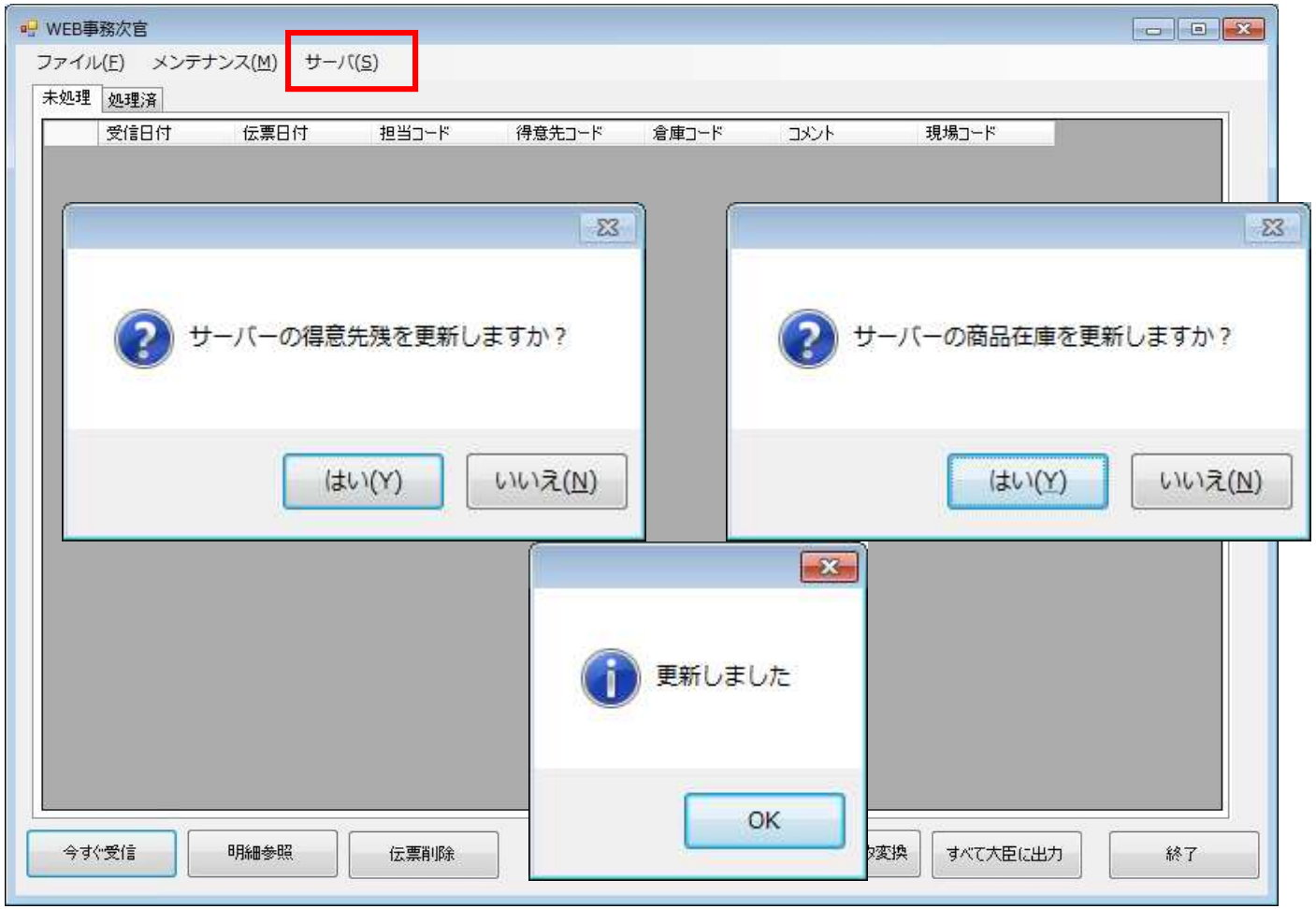
現場：販売大臣で、現場をどれに割り当てているか指定します。

大臣見積データ受信フォルダ：販売大臣で見積伝票データを出力した際、指定したフォルダをここで指定します。その下のファイル名の欄に、その際のファイル名を記述します。

FileMaker見積データ出力フォルダ：FileMakerで入力された見積伝票データを、販売大臣用に変換したファイルを置く場所を指定します。ファイル名は、その際になんと言う名前で登録するか指定します。

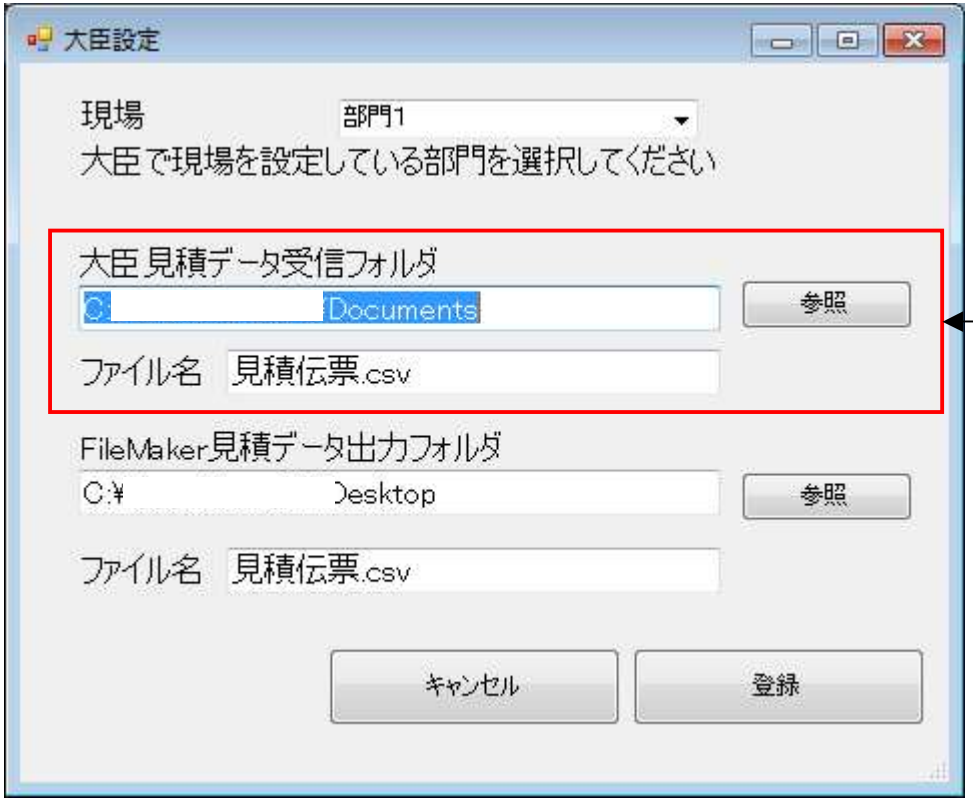
登録ボタンを押すと、変更を反映します。キャンセルを押すと、反映せずに設定を終了します。

サーバー



サーバーで処理を行うと、各メッセージが表示され、処理が完了すると更新しました、とメッセージが表示されます。

サーバー―見積伝票更新―

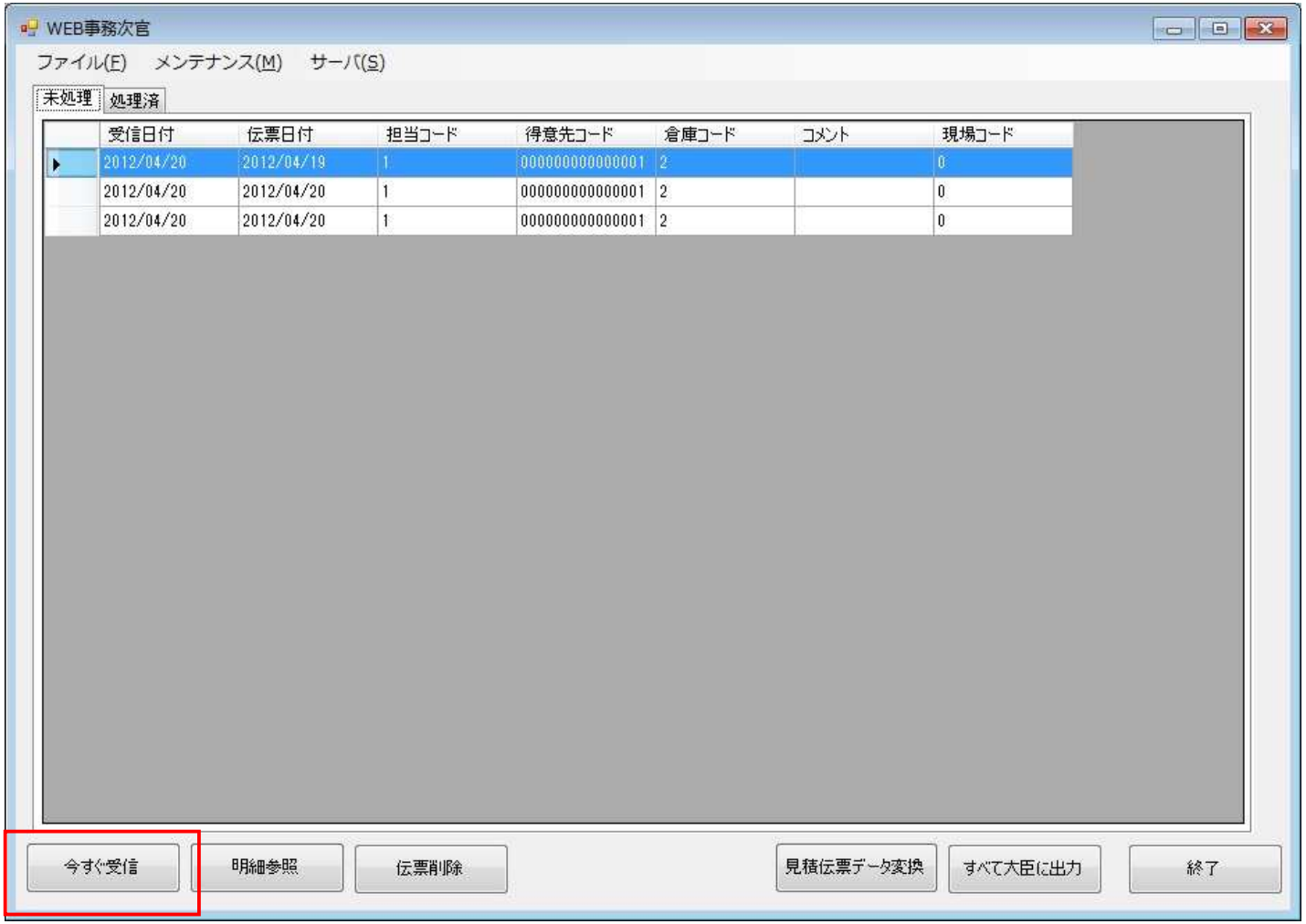


見積のデータは、大臣設定のこの場所で指定された場所から取得してきます。

見積のデータは、自動で取得してくることが出来ません。販売大臣で、見積伝票のデータを出力し、その出力されたデータを、事務次官でFileMaker用に変換し、送信します。

大臣のデータ出力の方法は、P25をご覧ください。

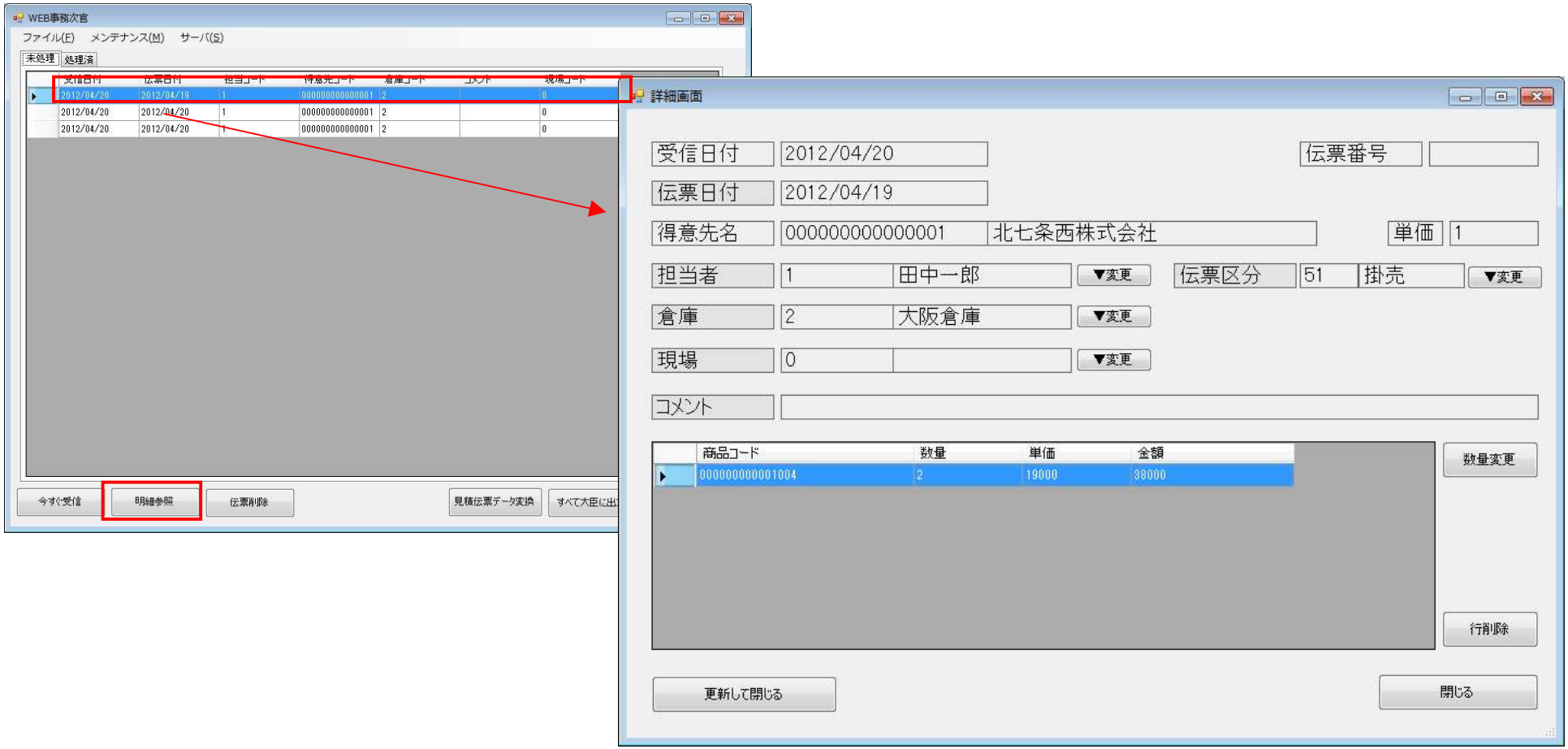
データの受信



データを受信すると、トップ画面が変わり、受信したデータを見ることが出来ます。

データの受信は、規定値で指定した時間ごとの受信と、今すぐ受信ボタンを押して受信する方法の二つあります。

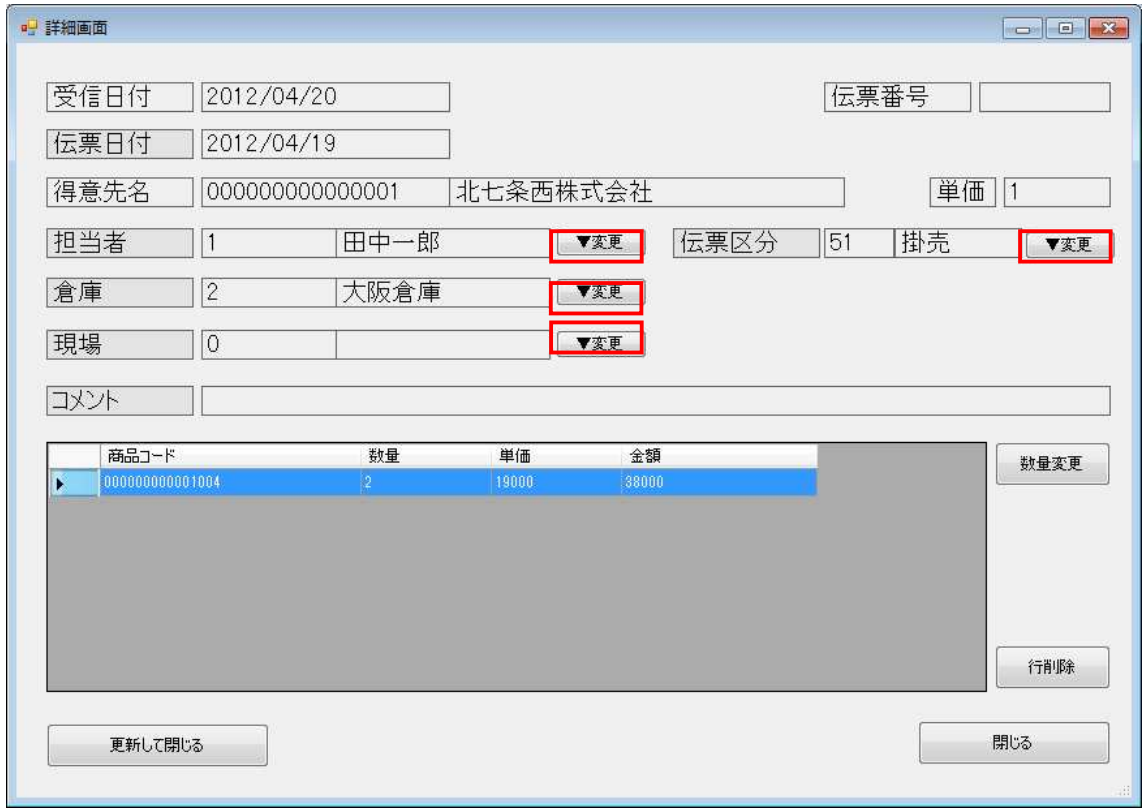
データ詳細



詳細を見たい伝票を選択してダブルクリックするか、下の明細参照ボタンを押すと、その伝票の詳細を見ることが出来ます。

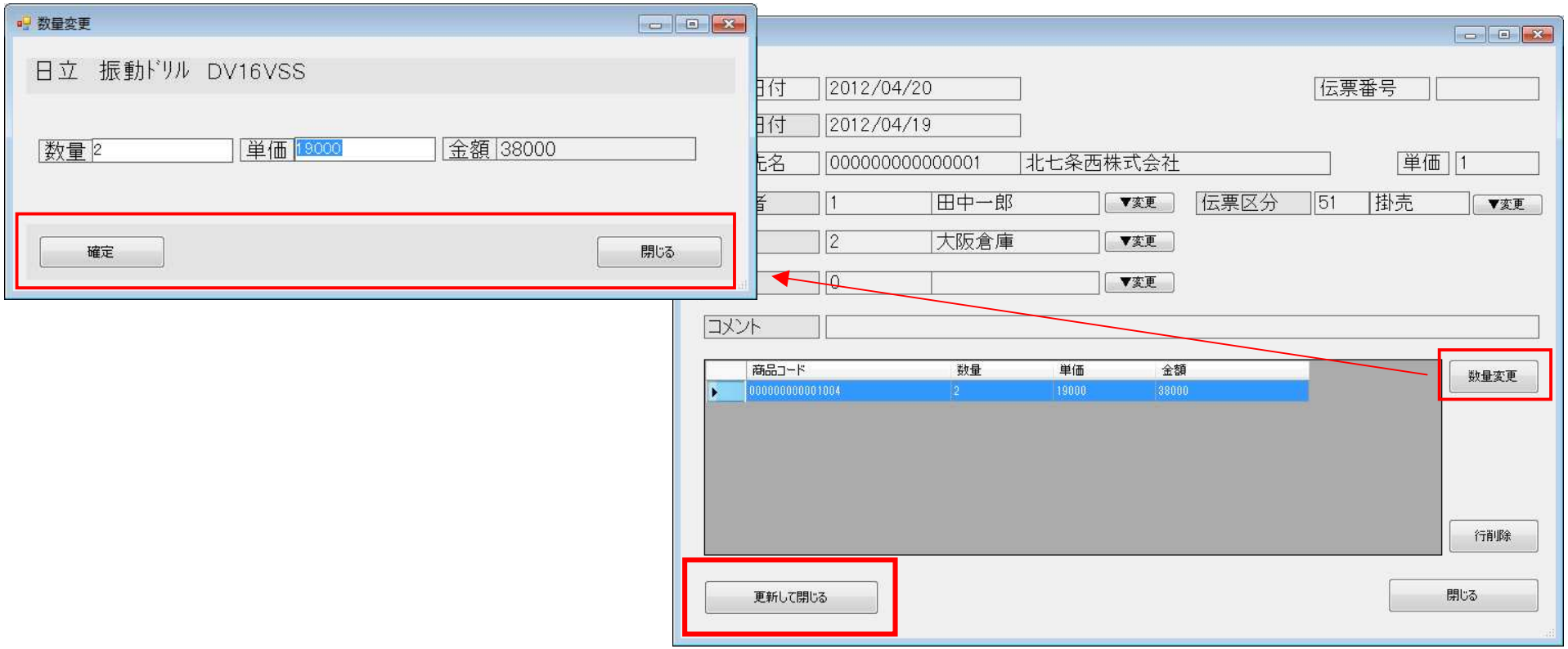
ここで、担当者、伝票区分、倉庫、現場、数量の変更が可能です。

データ詳細（担当者、伝票区分、倉庫、現場変更）



各項目横の変更ボタンを押すと、右図のような画面が開き、各項目ごとに、その項目に登録されたデータが表示されますので、変更したいものを選び、確定ボタンを押してください。閉じるボタンでは、変更は反映されません。

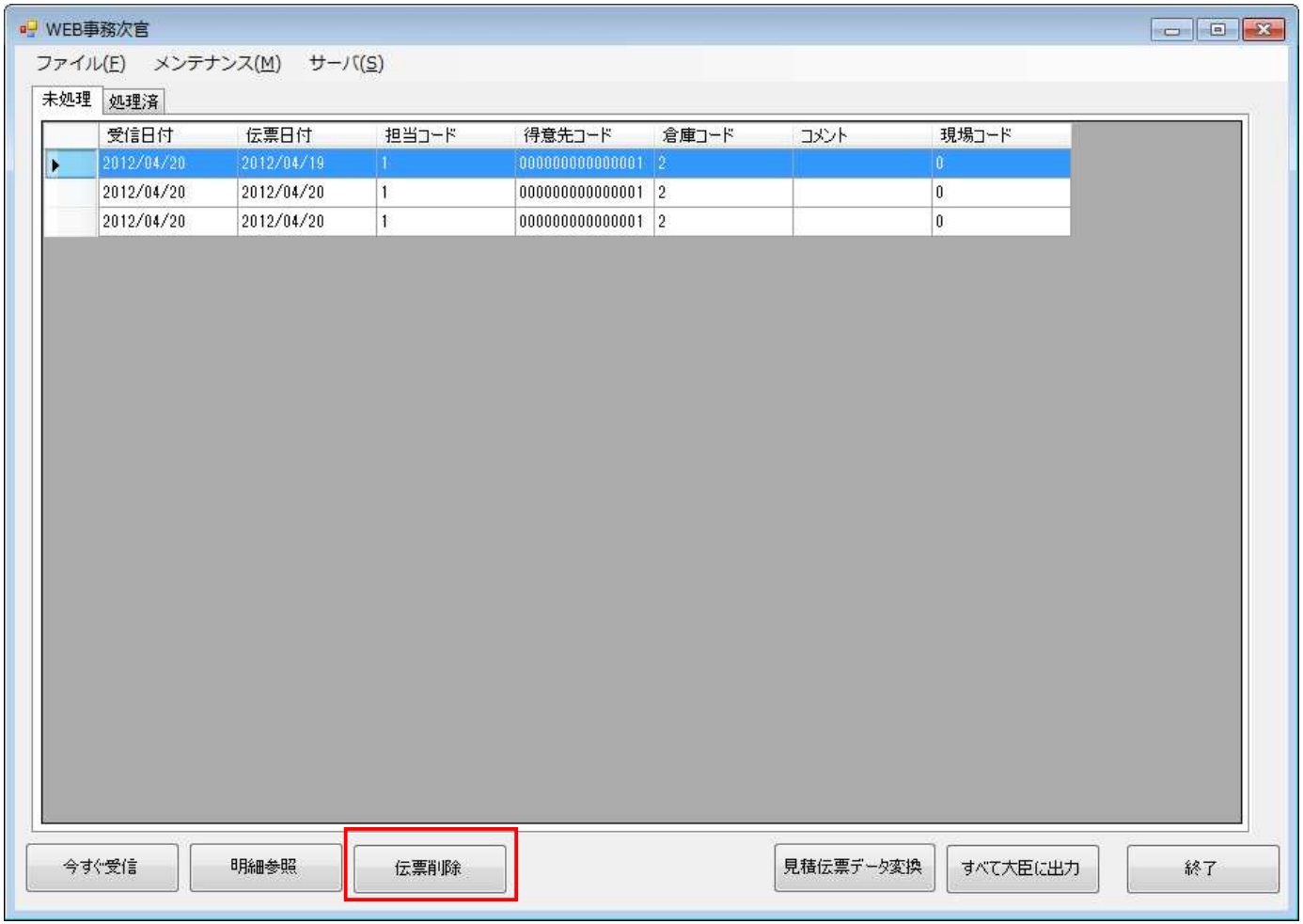
データ詳細 (数量変更)



数量の変更を行いたい明細を選択し、数量変更ボタンを押すと、別の画面が開きますので、その画面で数量を打ちかえて、**確定**してください。**確定**を行わず、**閉じる**ボタンで画面を終了させると、変更は反映されません。

数量、担当者、伝票区分、倉庫、現場いずれか変更をした場合は、更新して閉じるを選択して、詳細画面を終了させてください。閉じただけでは、変更が反映されません。

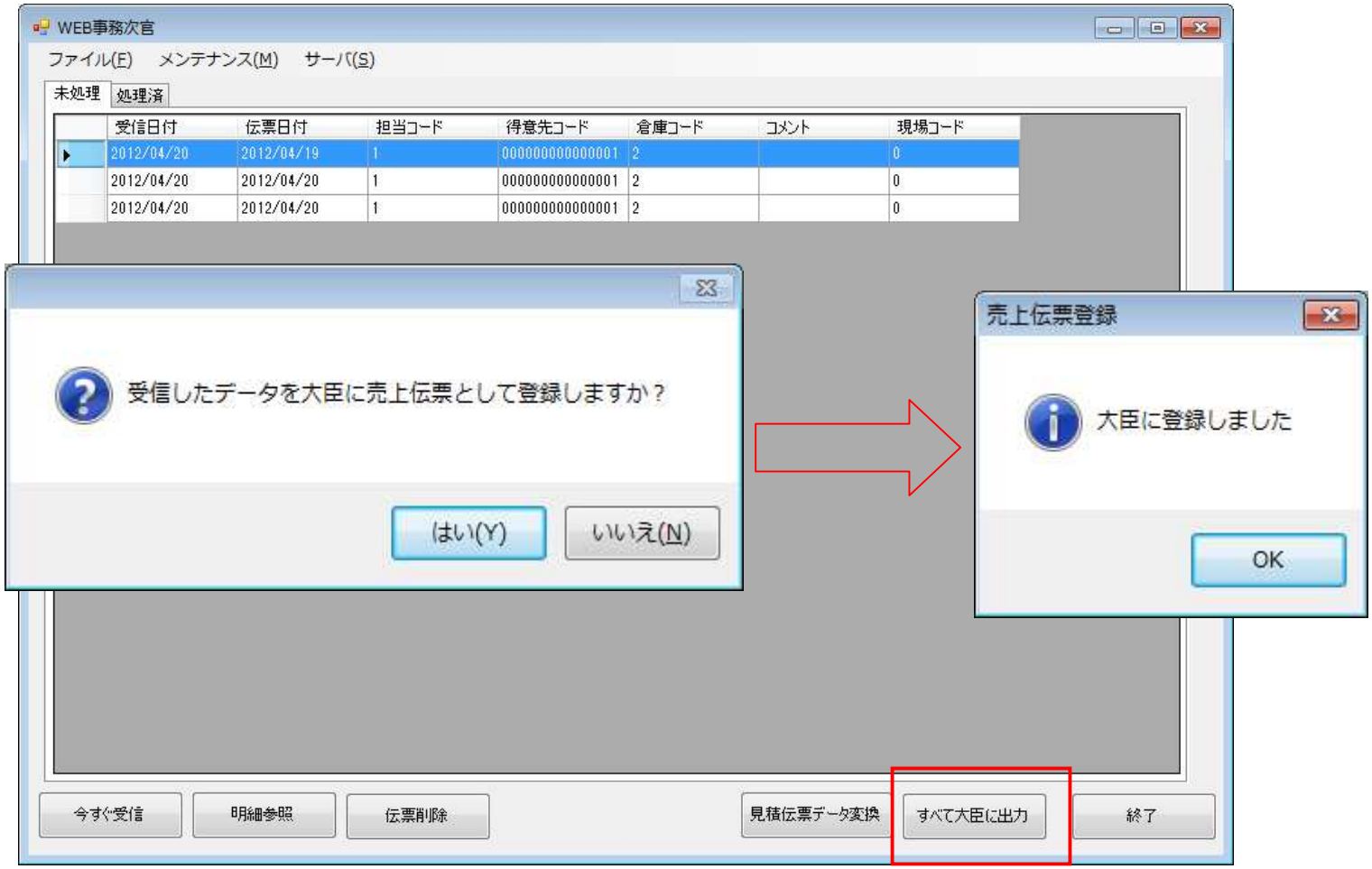
データ削除



送られてきたデータで、間違って入力した伝票があった場合、ここで削除することも可能です。

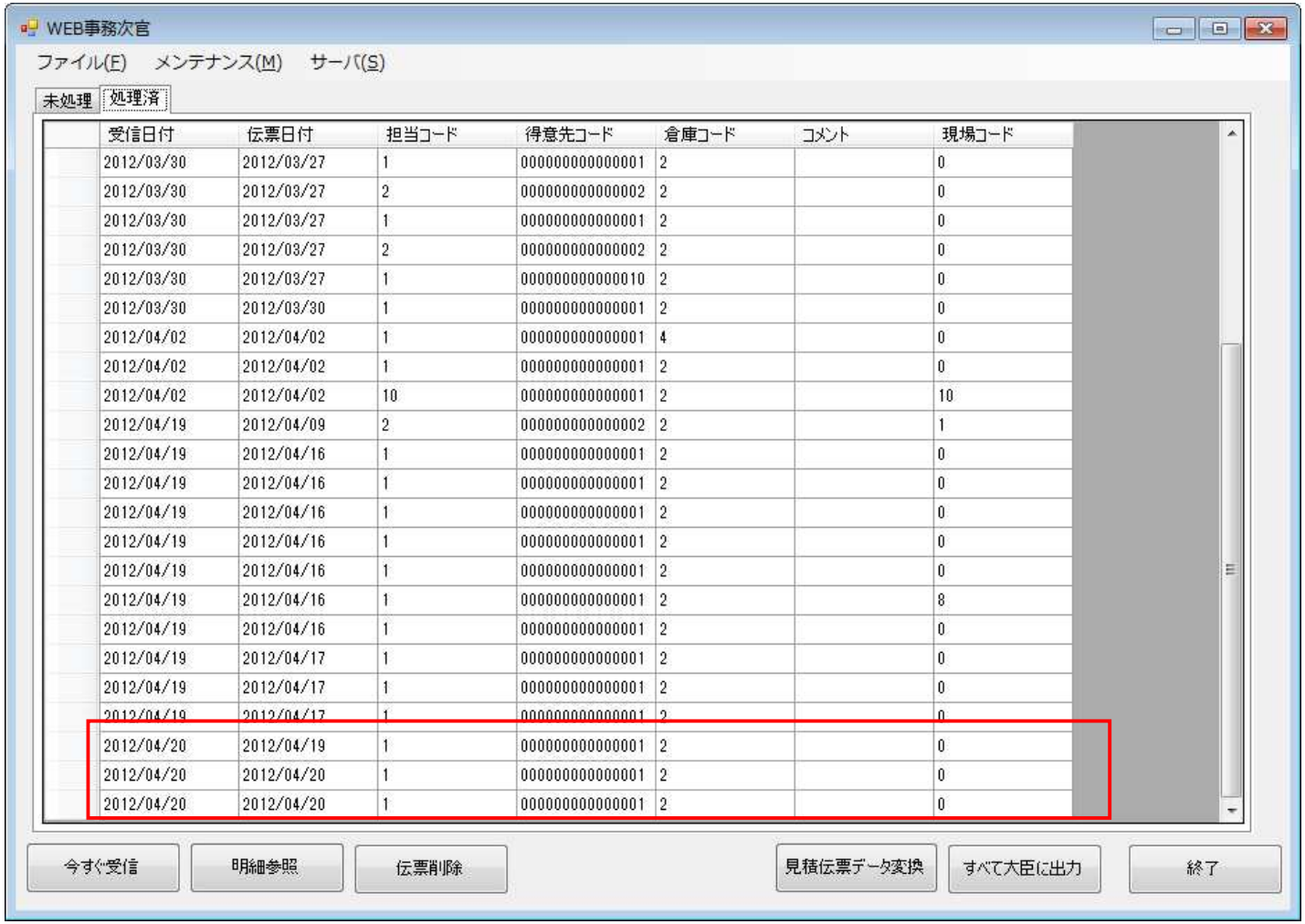
消したい伝票を選択し、**伝票削除**のボタンを押してください。選択したデータが削除されます。

売上伝票登録



確認、変更を行い、販売大臣に売上伝票として登録するのに問題が無い場合は、すべて大臣に出力ボタンを押してください。確認のメッセージが表示され、はいを選ぶと登録が行われます。

送信したデータ

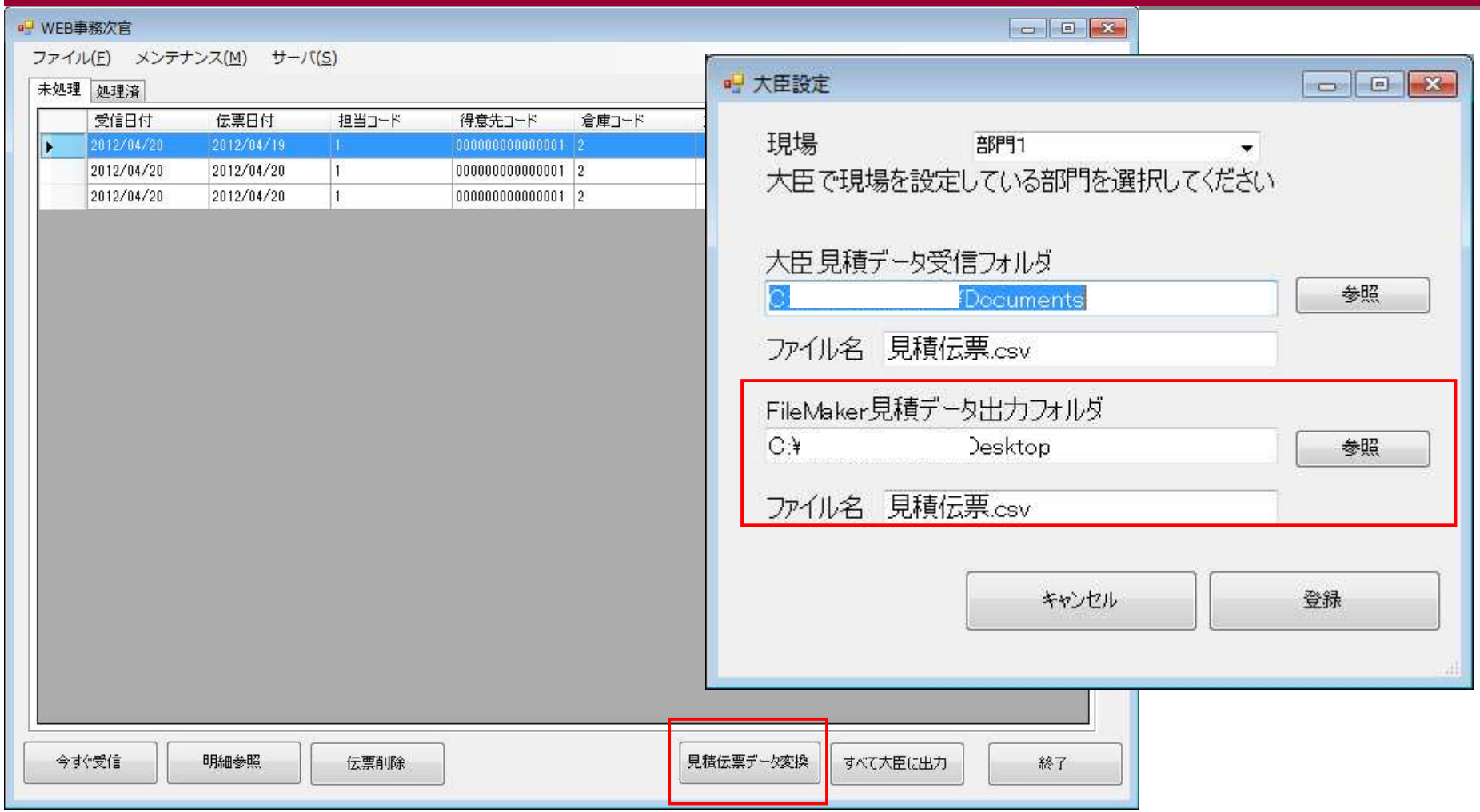


受信日付	伝票日付	担当コード	得意先コード	倉庫コード	コメント	現場コード
2012/03/30	2012/03/27	1	000000000000001	2		0
2012/03/30	2012/03/27	2	000000000000002	2		0
2012/03/30	2012/03/27	1	000000000000001	2		0
2012/03/30	2012/03/27	2	000000000000002	2		0
2012/03/30	2012/03/27	1	000000000000010	2		0
2012/03/30	2012/03/30	1	000000000000001	2		0
2012/04/02	2012/04/02	1	000000000000001	4		0
2012/04/02	2012/04/02	1	000000000000001	2		0
2012/04/02	2012/04/02	10	000000000000001	2		10
2012/04/19	2012/04/09	2	000000000000002	2		1
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		8
2012/04/19	2012/04/16	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/17	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/17	1	000000000000001	2		0
2012/04/19	2012/04/17	1	000000000000001	2		0
2012/04/20	2012/04/19	1	000000000000001	2		0
2012/04/20	2012/04/20	1	000000000000001	2		0
2012/04/20	2012/04/20	1	000000000000001	2		0

販売大臣に登録したデータは、処理済のタブを選ぶと、そこで一覧で表示されます。四角で囲った部分が、先ほど登録された伝票です。

伝票をダブルクリックすると、詳細を見ることが出来ます。(編集は出来ません)

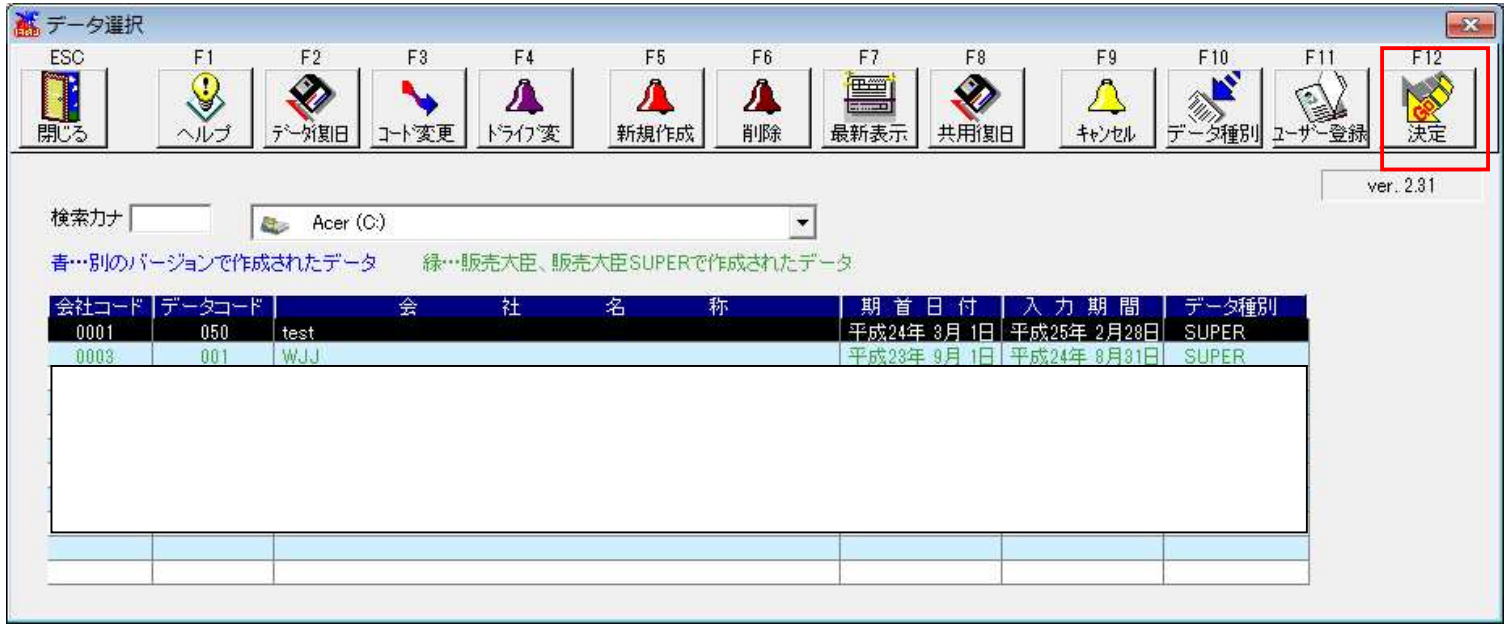
見積伝票変換



見積伝票データ変換ボタンを押すと、FileMakerから出力された見積のデータを、販売大臣に登録するのに適した形式に変換し、出力しなおします。その際は、大臣設定の四角で囲った欄で指定された場所、名前で出力されます。

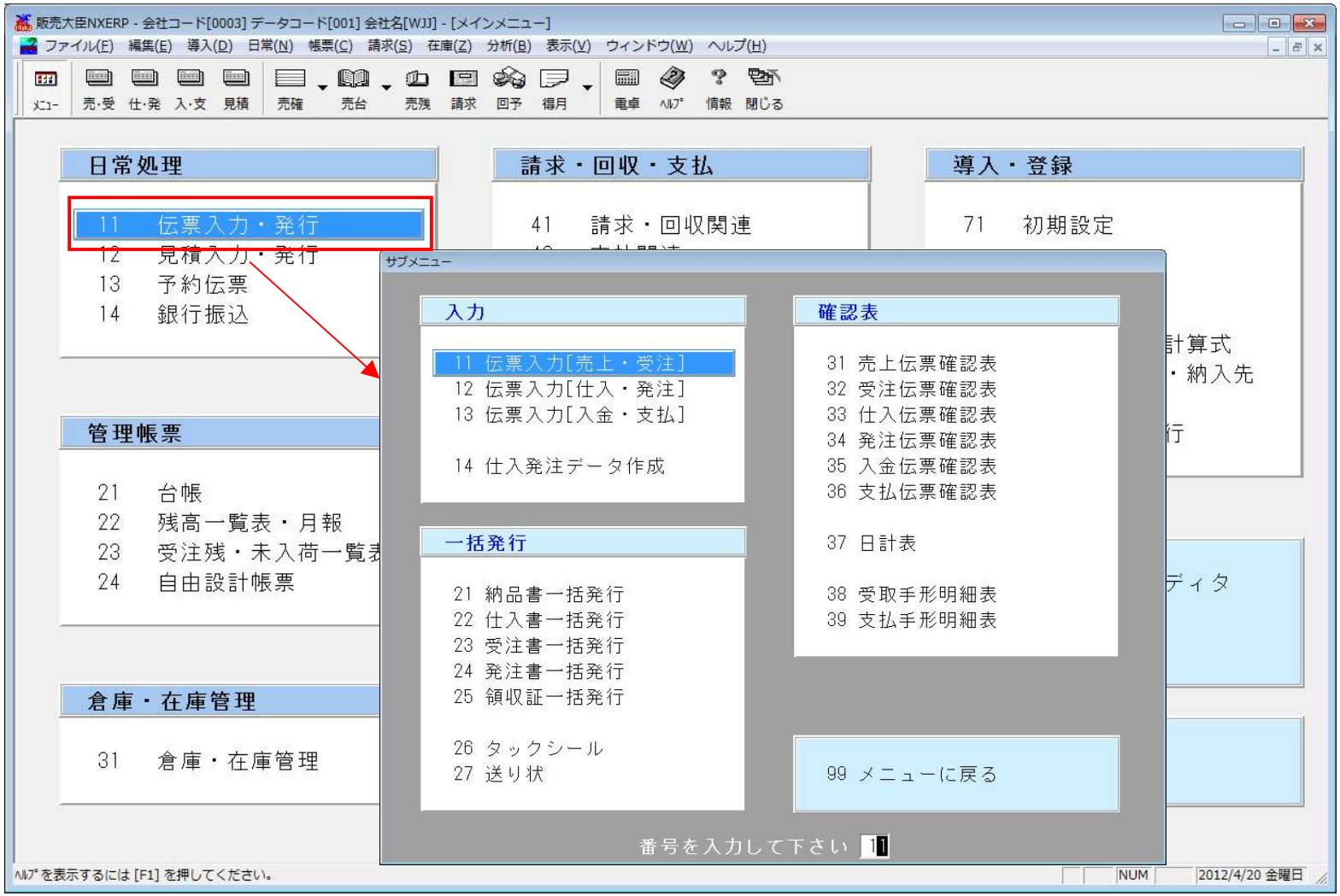
販売大臣

デスクトップのこのアイコンをダブルクリックして、販売大臣を起動します。



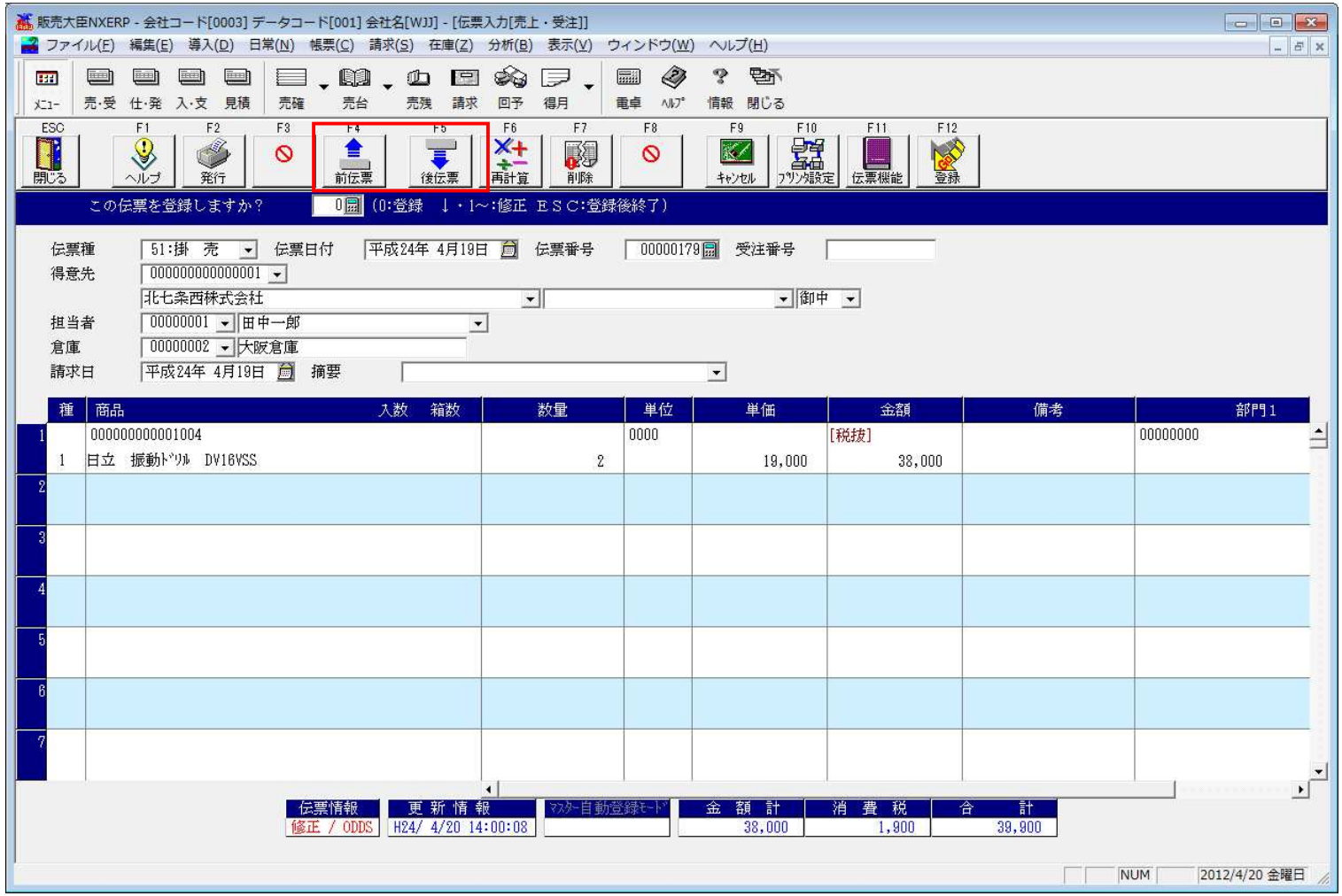
販売大臣を開くと、データ選択の画面が開かれますので、開きたいデータを選び、F12キーを押すか、上の決定ボタンを押して、データを開いてください。

販売大臣―売上伝票―



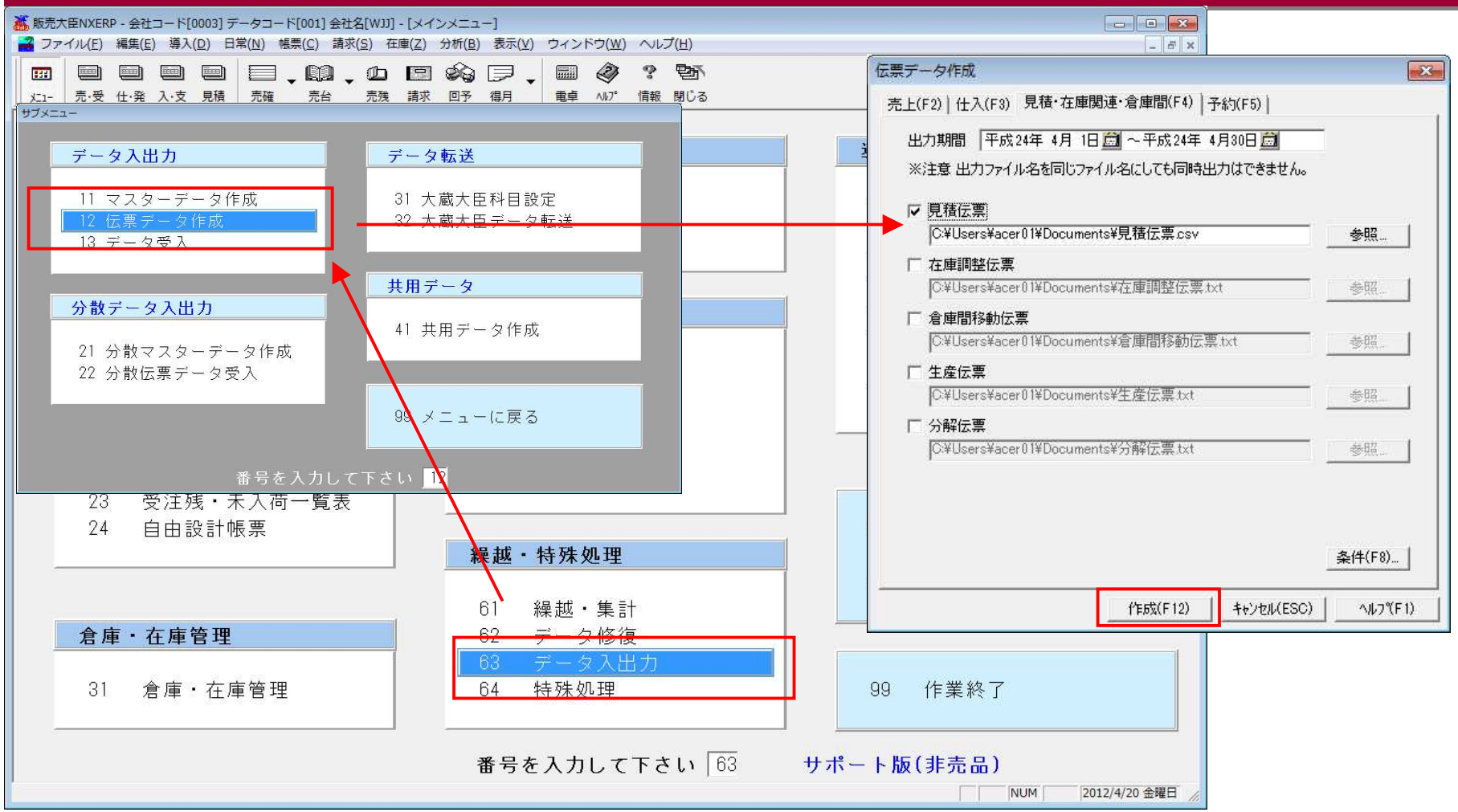
Web事務次官から送信した売上データを確認したい場合は、**日常処理→伝票入力・発行→伝票入力[売上・受注]**を選択してください。

売上伝票確認



伝票を開き、F4、F5で前の伝票、後の伝票を見れますので、それで、データが送られていることを確認してください。

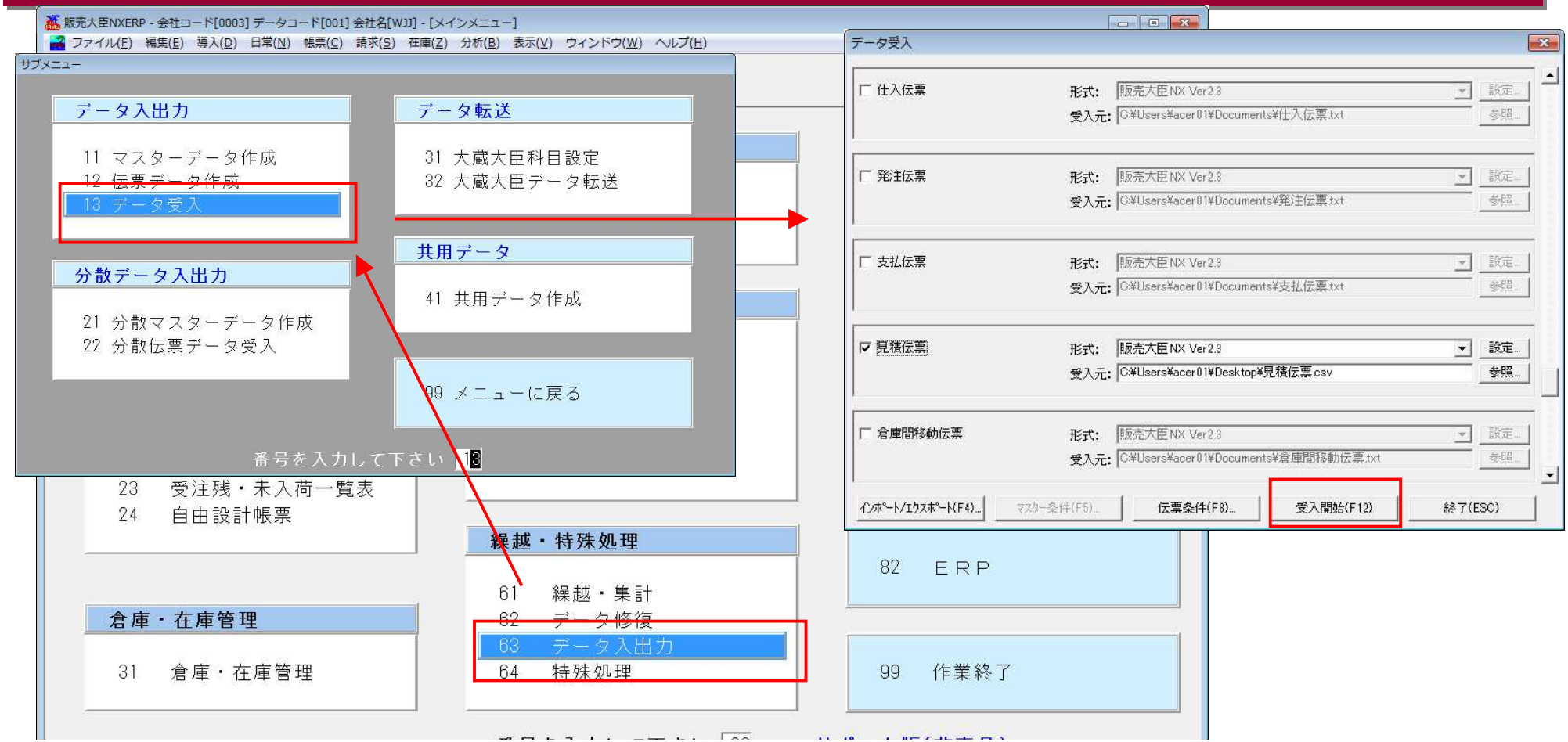
販売大臣－見積伝票出力－



繰越・特殊処理のデータ入出力→伝票データ作成→見積・在庫関連・倉庫間タブ→見積伝票に**チェックをし、作成ボタンを押すと、指定した場所に見積伝票のデータが出力されます。**

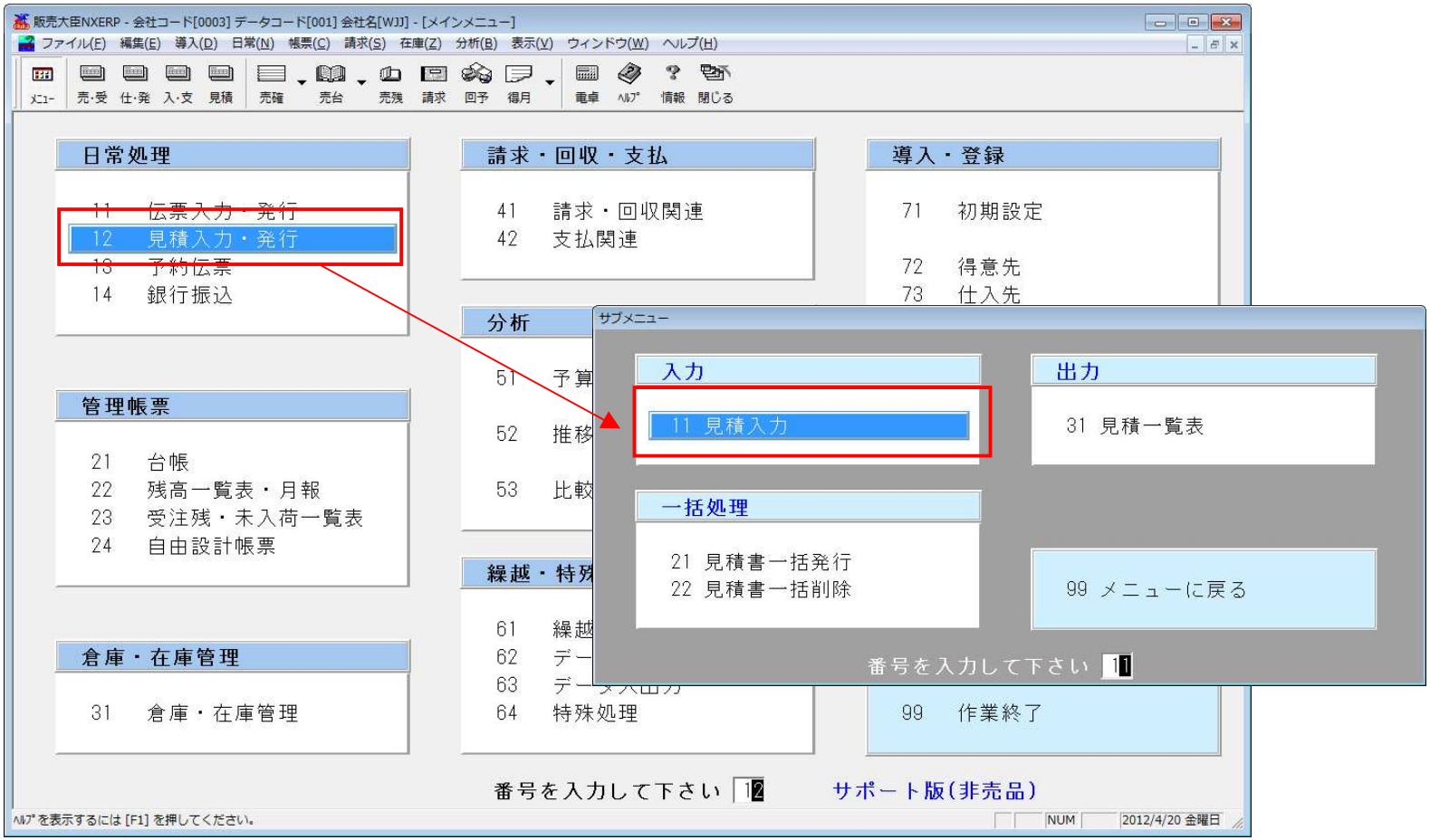
Web事務次官では、この出力されたデータを元に、FileMakerにデータを送信します。

販売大臣―見積伝票受入―



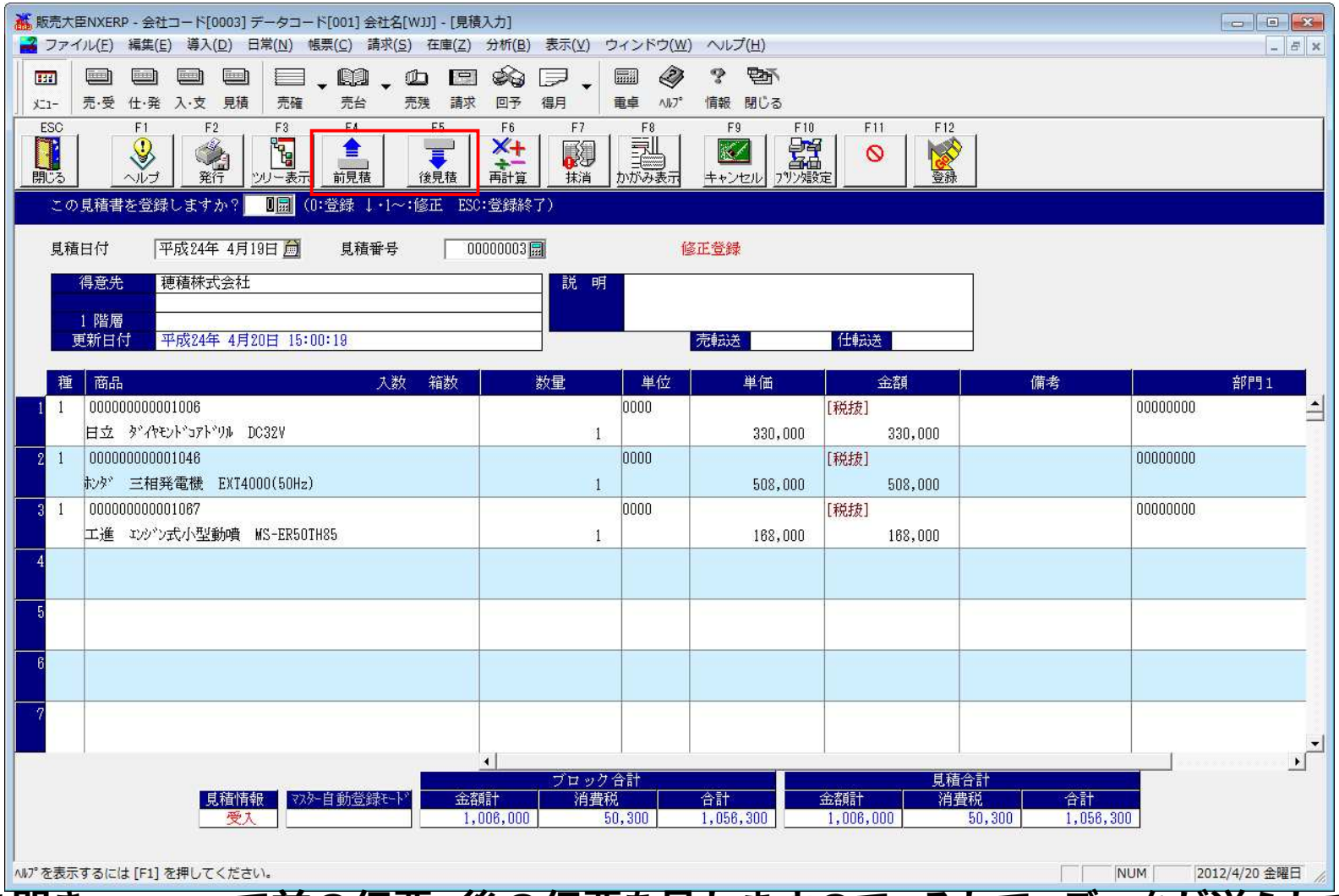
データの出力と同様に、データ入出力を押し、先ほどの伝票データ作成のすぐ下のデータ受入を押して、右画面を開きます。下の方へ移動すると、見積伝票の受信のチェック欄がありますので、チェックをして、受入元をWeb事務次官で指定した出力先のパス、ファイル名と同じにして、受入開始を押してください。

販売大臣―見積伝票―



Web事務次官から送信した見積データを確認したい場合は、**日常処理→見積入力･発行→見積入力**を選択してください。

見積伝票確認



伝票を開き、F4、F5で前の伝票、後の伝票を見れますので、それで、データが送られていることを確認してください。